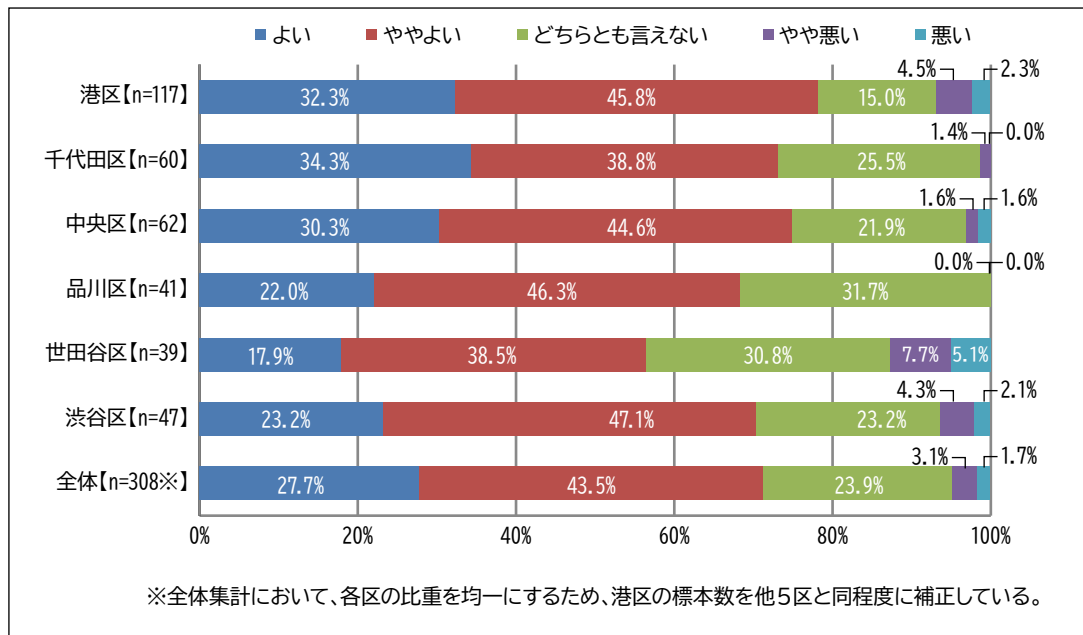


図表2-22-2-3 子育て・教育環境への評価（子どもの年齢0～18歳未満回答における比較）



23 子育て・教育環境の魅力的な点（問14（2））

問14（2） 子育てや教育について、現在、お住まいの区において魅力を感じる要素をお答えください。（複数回答）

- 1 保育施設（保育園等）が整備され充実している
- 2 待機児童が少ない
- 3 ひとり親家庭支援（経済的支援を含む）が充実している
- 4 児童虐待対策が整っている
- 5 障害のある子どもの生活支援体制が充実している
- 6 子育ての悩みに対する相談体制が充実している
- 7 子育て情報の提供が充実している
- 8 仕事と子育てを両立させるための支援が充実している
- 9 地域の子育てネットワークが構築されている
- 10 近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている
- 11 特別支援教育が充実している（体制が整っている）
- 12 ICTを活用した教育が推進されている
- 13 外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している
- 14 青少年健全育成が充実している
- 15 わからない
- 16 その他
- 17 魅力を感じる要素はない

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「わからない」、「魅力を感じる要素はない」、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が1位から3位となっている。港区は「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が6区中2位、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」が6区中1位である。

■調査結果

港区は、「わからない」が28.4%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（27.2%）、「魅力を感じる要素はない」（23.0%）などが多くなっている。

図表2-23-1-1 子育て・教育環境の魅力的な点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1800 ※】
第1位	わからない 28.4%	魅力を感じる要素はない 28.8%	わからない 32.7%	わからない 33.7%	わからない 34.3%	わからない 32.0%	わからない 31.1%
第2位	保育施設（保育園等）が整備され充実している 27.2%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 27.5%	魅力を感じる要素はない 27.1%	魅力を感じる要素はない 24.7%	魅力を感じる要素はない 32.0%	魅力を感じる要素はない 26.8%	魅力を感じる要素はない 27.1%
第3位	魅力を感じる要素はない 23.0%	わからない 25.7%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 22.6%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 22.7%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 16.0%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 21.1%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 22.8%
第4位	外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している 18.1%	待機児童が少ない 21.3%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 14.4%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 17.0%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 10.7%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 12.8%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 14.1%
第5位	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 15.0%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 14.7%	仕事と子育てを両立させるための支援が充実している 8.8%	子育て情報の提供が充実している 11.7%	子育て情報の提供が充実している 8.0%	外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している 11.8%	待機児童が少ない 10.7%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別子育て・教育環境の魅力的な点

港区

年齢が低いほど「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」、「子育て情報の提供が充実している」等の回答割合が高い傾向がある。また、年齢が高いほど「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」等の回答割合が高い。

■調査結果

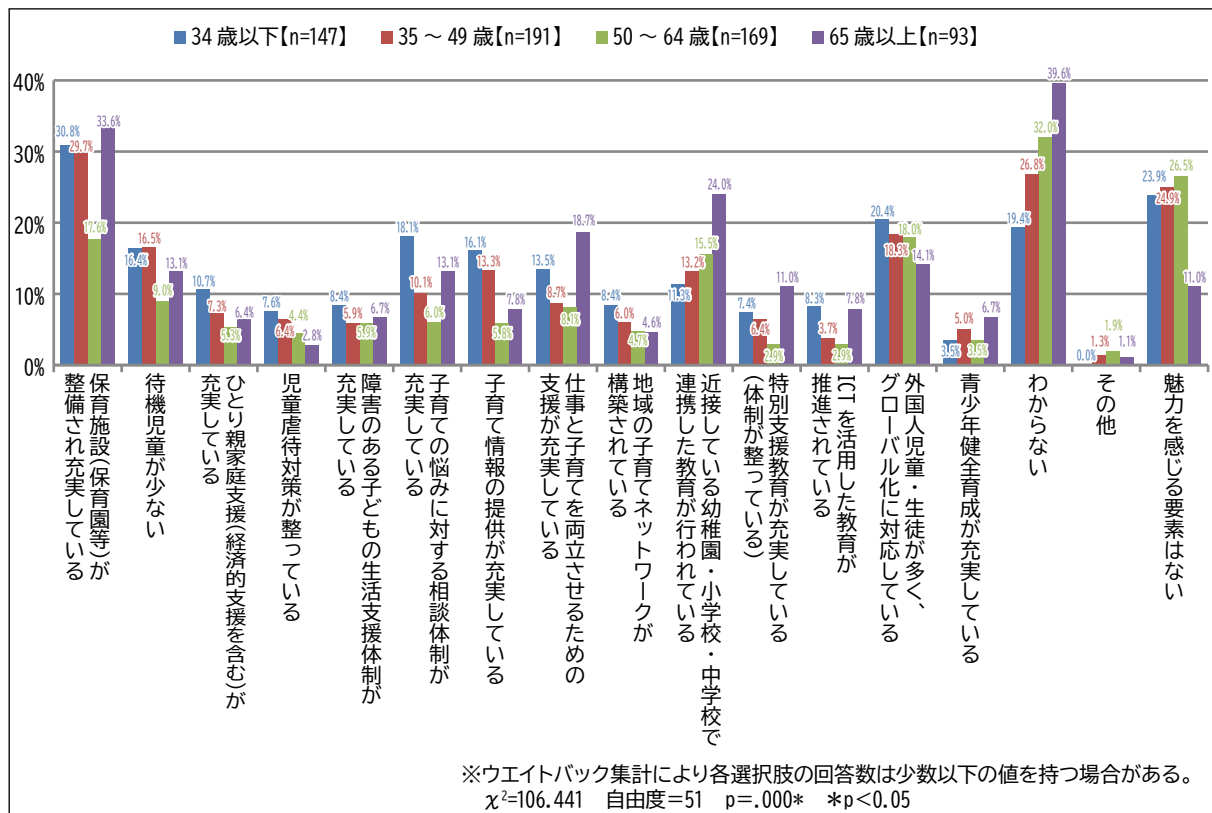
「34歳以下」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が30.8%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（23.9%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（20.4%）などが多くなっている。

「35～49歳」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が29.7%で最も多く、次いで「わからない」（26.8%）、「魅力を感じる要素はない」（24.9%）などが多くなっている。

「50～64歳」は、「わからない」が32%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（26.5%）、（18.0%）などが多くなっている。

「65歳以上」は、「わからない」が39.6%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（33.6%）、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（24.0%）などが多くなっている。

図表2-23-2-1 年齢別子育て・教育環境の魅力的な点



イ 職業別子育て・教育環境の魅力的な点

港区

いずれの職業においても「保育施設（保育園等）が整備され充実している」、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」の回答割合が高い。

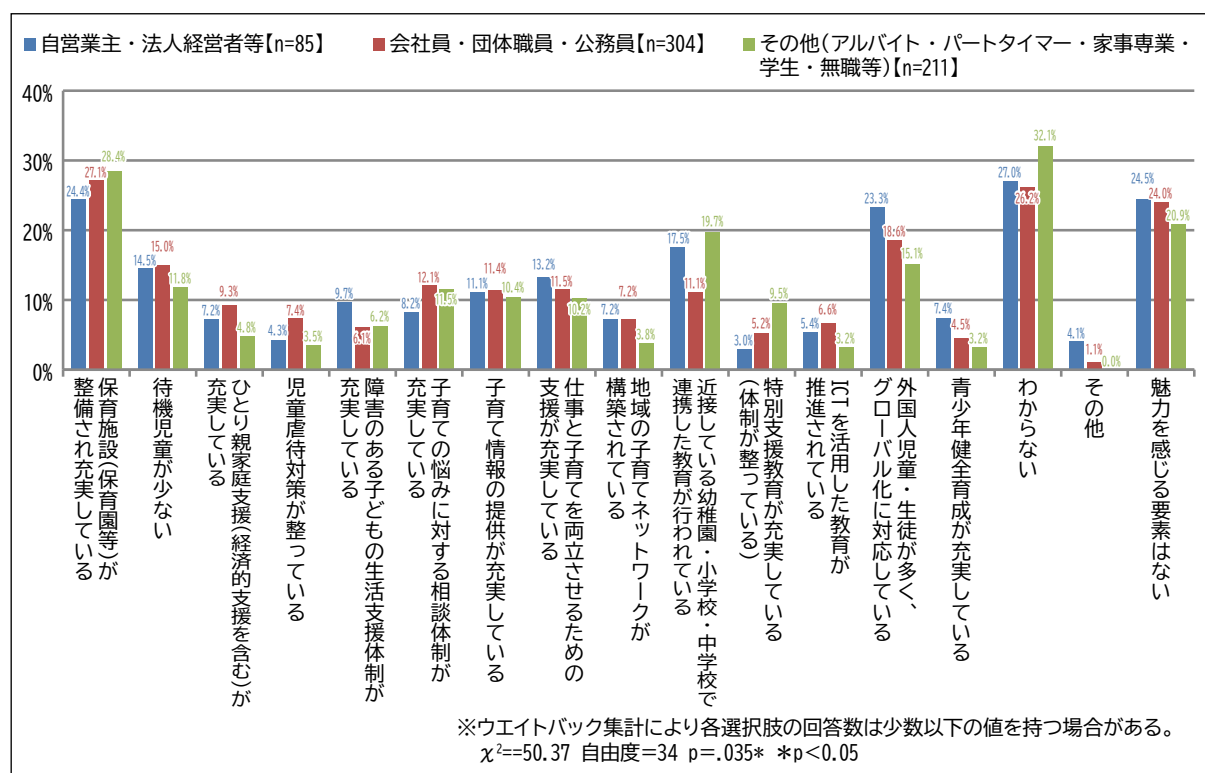
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「わからない」が27%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（24.5%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（24.4%）などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が27.1%で最も多く、次いで「わからない」（26.2%）、「魅力を感じる要素はない」（24%）などが多くなっている。

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「わからない」が32.1%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（28.4%）、「魅力を感じる要素はない」（20.9%）などが多くなっている。

図表2-23-2-2 職業別子育て・教育環境の魅力的な点



ウ 居住年数別子育て・教育環境の魅力的な点

港区

居住年数が長いほど、各項目への評価が低く、「魅力を感じる要素はない」の回答割合が高い。

■調査結果

「2年未満」は、「わからない」が31.3%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実

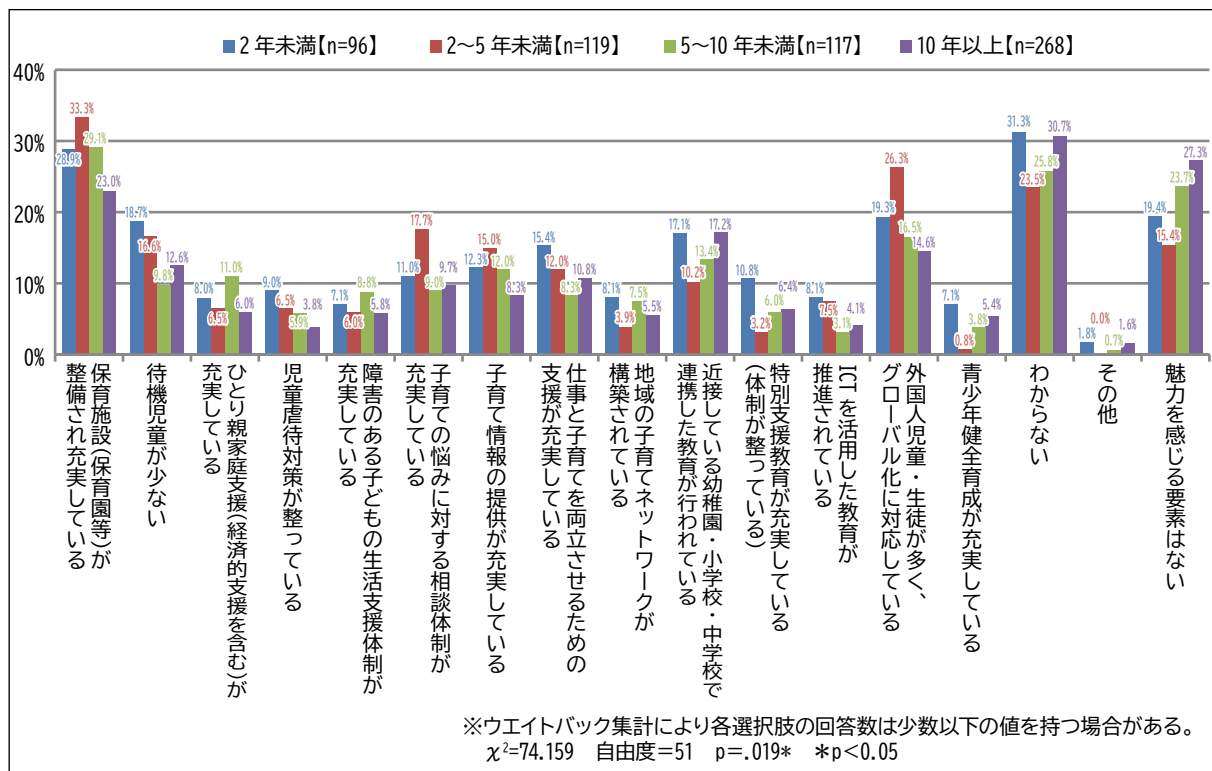
している」(28.9%)、「魅力を感じる要素はない」(19.4%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が33.3%で最も多く、次いで「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」(26.3%)、「わからない」(23.5%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が29.1%で最も多く、次いで「わからない」(25.8%)、「魅力を感じる要素はない」(23.7%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「わからない」が30.7%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」(27.3%)、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」(23.0%)などが多くなっている。

図表2-23-2-3 居住年数別子育て・教育環境の魅力的な点



エ 子どもの年齢別子育て・教育環境の魅力的な点

港区

いずれの子どもの年齢においても「保育施設（保育園等）が整備され充実している」の回答割合が高く、特に「子ども0～6歳」は64.1%で最も高い。

■調査結果

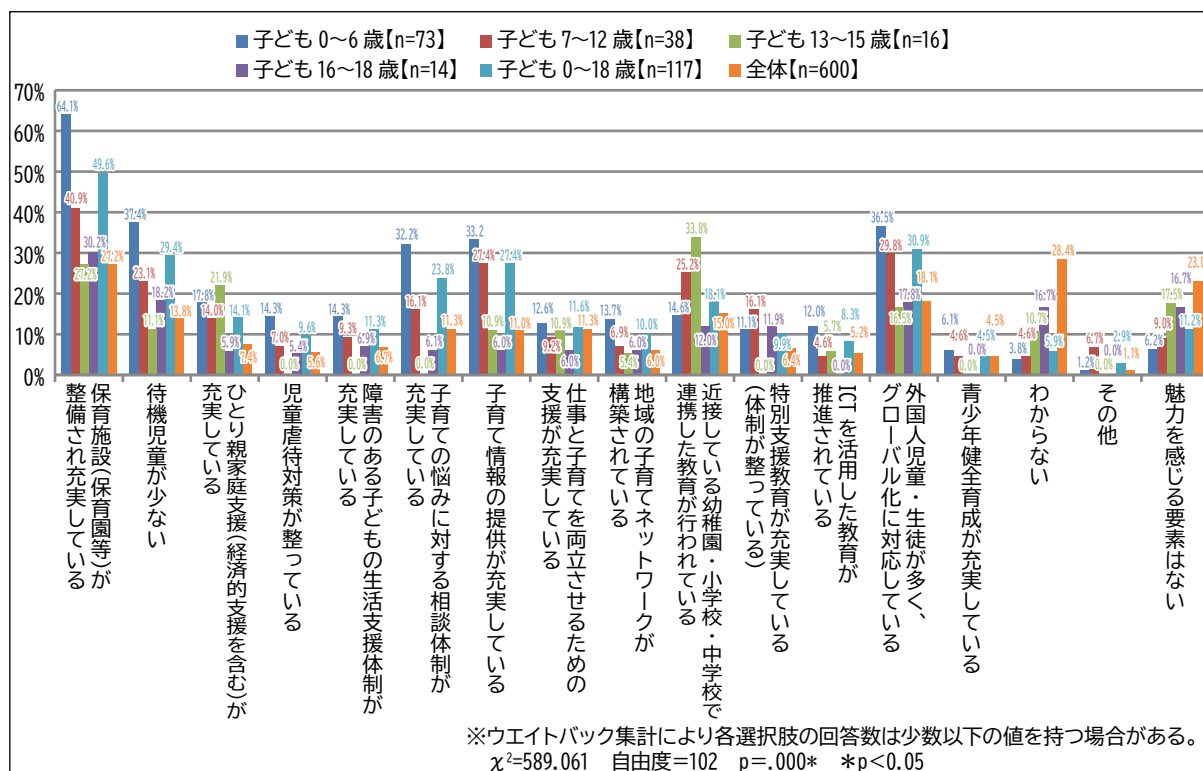
「子ども0～6歳」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が64.1%で最も多く、次いで「待機児童が少ない」(37.4%)、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」(36.5%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が40.9%で最も多く、次いで「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」(29.8%)、「子育て情報の提供が充実している」(27.4%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」が33.8%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（27.2%）、「ひとり親家庭支援（経済的支援を含む）が充実している」（21.9%）などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が30.2%で最も多く、次いで「待機児童が少ない」（18.2%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（17.8%）などが多くなっている。

図表2-23-2-4 子どもの年齢別子育て・教育環境の魅力的な点



オ 子育て・教育環境への評価別子育て・教育環境の魅力的な点

港区

子育て・教育環境への評価で「よい」や「ややよい」と回答した者が「保育施設（保育園等）が整備され充実している」、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」等と回答している割合が高い。

■調査結果

「よい」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が52.8%で最も多く、次いで「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（37.2%）、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（33.9%）などが多くなっている。

「ややよい」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が37.2%で最も多く、次いで「わからない」（23.0%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（22.7%）などが多くなっている。

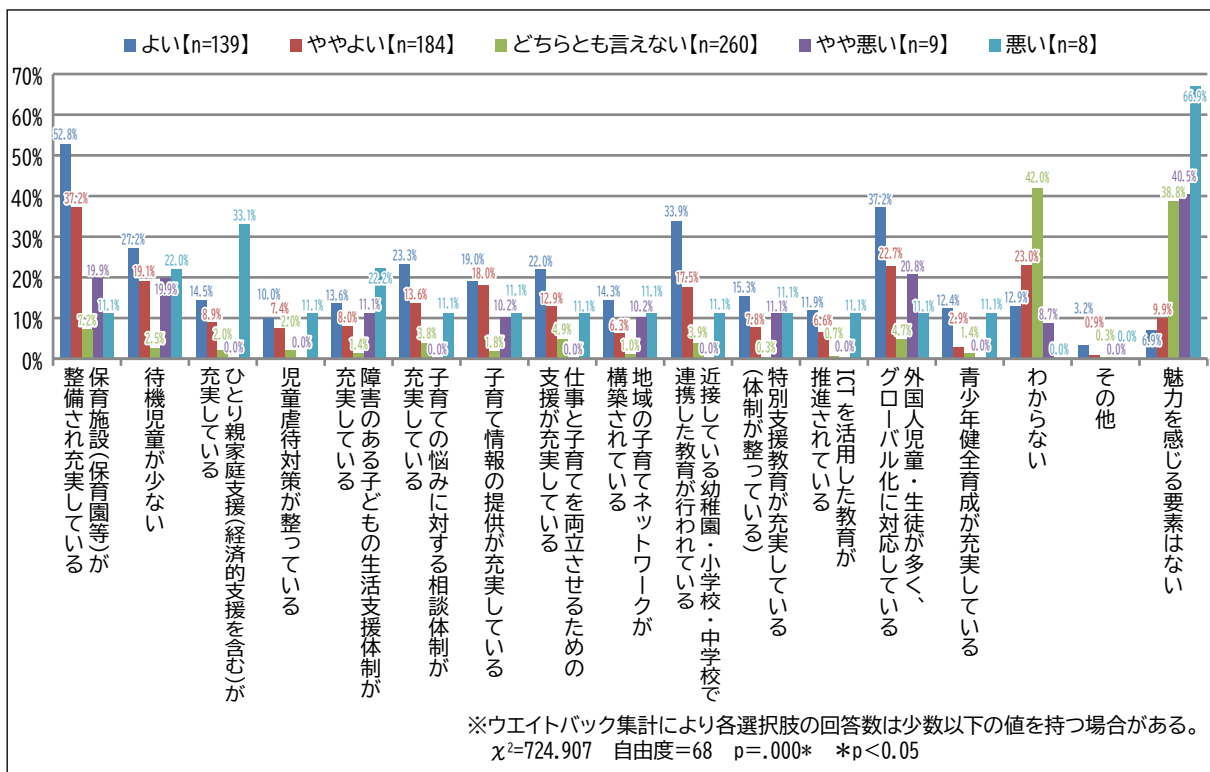
「どちらとも言えない」は、「わからない」が42%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」

(38.8%)、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（7.2%）などが多くなっている。

「やや悪い」は、「魅力を感じる要素はない」が40.5%で最も多く、次いで「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（20.8%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（19.9%）などが多くなっている。

「悪い」は、「魅力を感じる要素はない」が66.9%で最も多く、次いで「ひとり親家庭支援（経済的支援を含む）が充実している」（33.1%）、「障害のある子どもの生活支援体制が充実している」（22.2%）などが多くなっている。

図表2-23-2-5 子育て・教育環境への評価別子育て・教育環境の魅力的な点



カ 子育て・教育環境の魅力的な点（子どもの年齢0～6歳未満回答における比較）

6区

各区とも「保育施設（保育園等）が整備され充実している」の回答割合が高い。

また、港区は「待機児童が少ない」、「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」、「特別支援教育が充実している」、「ICTを活用した教育が推進されている」、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」が、他区と比較して高い水準である。

■調査結果

「港区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が64.1%で最も多く、次いで「待機児童が少ない」（37.4%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（36.5%）などが多くなっている。

「千代田区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が66.8%で最も多く、次いで「待

機児童が少ない」(43.3%)、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」(21.7%)などが多くなっている。

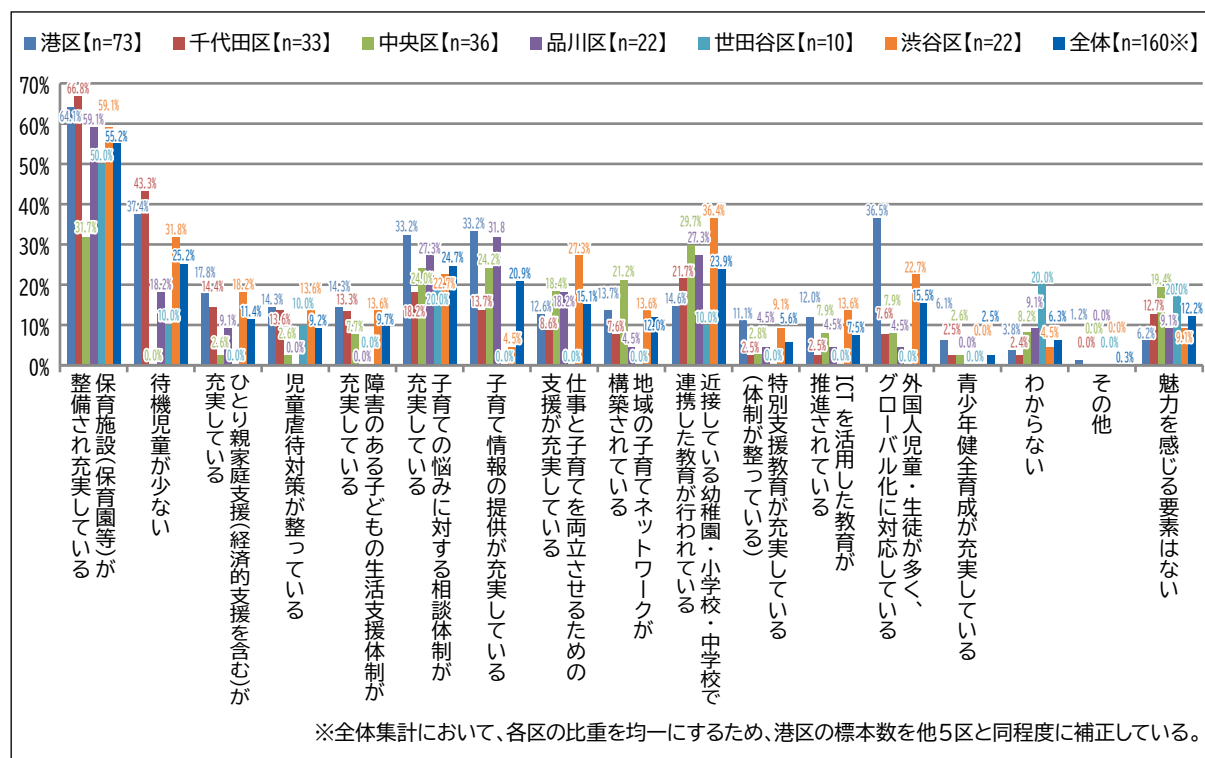
「中央区」は、「保育施設(保育園等)が整備され充実している」が31.7%で最も多く、次いで「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」(29.7%)、「子育て情報の提供が充実している」(24.2%)などが多くなっている。

「品川区」は、「保育施設(保育園等)が整備され充実している」が59.1%で最も多く、次いで「子育て情報の提供が充実している」(31.8%)、「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」(27.3%)などが多くなっている。

「世田谷区」は、「保育施設(保育園等)が整備され充実している」が50.0%で最も多く、次いで「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」、「わからない」が20.0%で同率となっている。

「渋谷区」は、「保育施設(保育園等)が整備され充実している」が59.1%で最も多く、次いで「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」(36.4%)、「待機児童が少ない」(31.8%)などが多くなっている。

図表2-23-2-6 子育て・教育環境の魅力的な点(子どもの年齢0～6歳未満回答における比較)



各区とも「保育施設（保育園等）が整備され充実している」、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」の回答割合が高い。

また、港区は「待機児童が少ない」、「子育て情報の提供が充実している」、「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」、「特別支援教育が充実している」、「ICTを活用した教育が推進されている」、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」が、他区と比較しても高い水準である。

■調査結果

「港区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が49.6%で最も多く、次いで「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（30.9%）、「待機児童が少ない」（29.4%）などが多くなっている。

「千代田区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が52.4%で最も多く、次いで「待機児童が少ない」（35.9%）、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（18.9%）などが多くなっている。

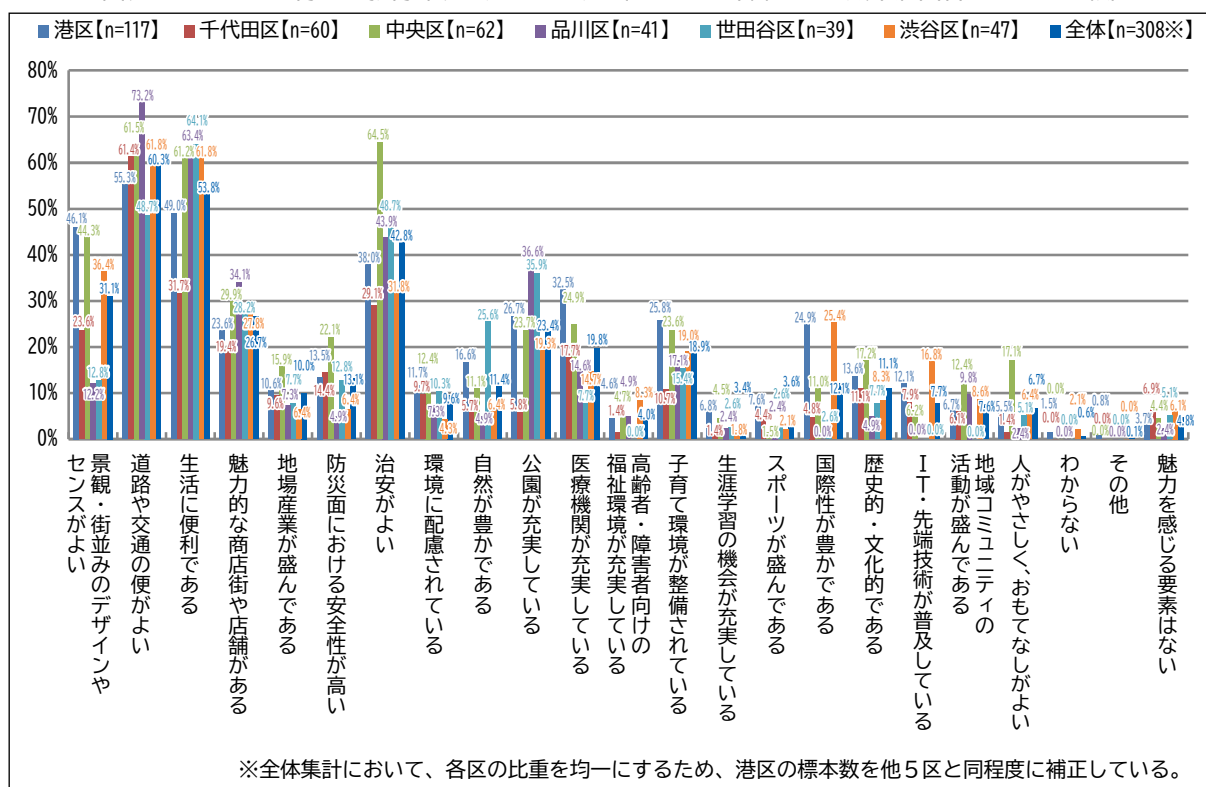
「中央区」は、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」が37.4%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（36%）、「地域の子育てネットワークが構築されている」（20.1%）などが多くなっている。

「品川区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が39.0%で最も多く、次いで「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（39.0%）、「子育て情報の提供が充実している」（31.7%）などが多くなっている。

「世田谷区」は、「魅力を感じる要素はない」が33.3%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（28.2%）、「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」（20.5%）などが多くなっている。

「渋谷区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が46.5%で最も多く、次いで「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（30.0%）、「待機児童が少ない」（27.2%）などが多くなっている。

図表2-23-2-7 子育て・教育環境の魅力的な点（子どもの年齢0～18歳未満回答における比較）



24 子育て・教育環境の最も魅力的な点（問14（3））

問14（3） 子育てや教育について、現在、お住まいの区において魅力を感じる要素、最も当てはまるもの

- 1 保育施設（保育園等）が整備され充実している
- 2 待機児童が少ない
- 3 ひとり親家庭支援（経済的支援を含む）が充実している
- 4 児童虐待対策が整っている
- 5 障害のある子どもの生活支援体制が充実している
- 6 子育ての悩みに対する相談体制が充実している
- 7 子育て情報の提供が充実している
- 8 仕事と子育てを両立させるための支援が充実している
- 9 地域の子育てネットワークが構築されている
- 10 近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている
- 11 特別支援教育が充実している（体制が整っている）
- 12 ICTを活用した教育が推進されている
- 13 外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している
- 14 青少年健全育成が充実している
- 15 わからない
- 16 その他
- 17 魅力を感じる要素はない

(1) 基本集計結果

いずれの区でも「わからない」、「魅力を感じる要素はない」が1位又は2位、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が3位となっており、「子育て・教育環境の魅力的な点（問14（2）」と類似した傾向がみられる。

■調査結果

港区は、「わからない」が28.4%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（23.0%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（14.5%）などが多くなっている。

図表2-24-1-1 子育て・教育環境の最も魅力的な点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1,800 ※】
第1位	わからない 28.4%	魅力を感じる要素はない 28.8%	わからない 32.7%	わからない 33.7%	わからない 34.3%	わからない 32.0%	わからない 31.1%
第2位	魅力を感じる要素はない 23.0%	わからない 25.7%	魅力を感じる要素はない 27.1%	魅力を感じる要素はない 24.7%	魅力を感じる要素はない 32.0%	魅力を感じる要素はない 26.8%	魅力を感じる要素はない 27.1%
第3位	保育施設（保育園等）が整備され充実している 14.5%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 16.5%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 14.1%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 13.3%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 9.0%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 11.1%	保育施設（保育園等）が整備され充実している 13.1%
第4位	外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している 8.0%	待機児童が少ない 11.3%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 6.7%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 8.0%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 6.0%	外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している 6.0%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 6.1%
第5位	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 5.3%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 5.0%	仕事と子育てを両立させるための支援が充実している 3.4%	仕事と子育てを両立させるための支援が充実している 3.7%	子育て情報の提供が充実している 2.7%	近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている 5.7%	待機児童が少ない 4.2%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別子育て・教育環境の最も魅力的な点

港区

いずれの年齢においても「保育施設（保育園等）が整備され充実している」の回答割合が高い。

■調査結果

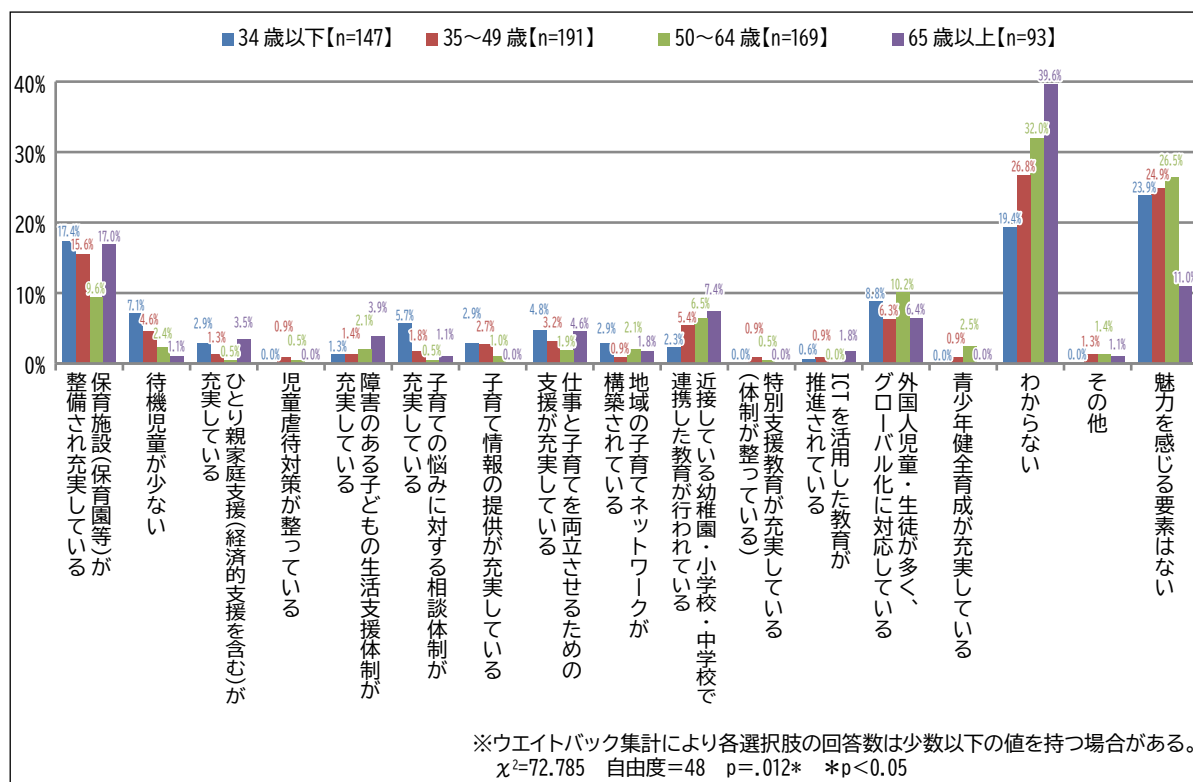
「34歳以下」は、「魅力を感じる要素はない」が23.9%で最も多く、次いで「わからない」(19.4%)、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」(17.4%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「わからない」が26.8%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」(24.9%)、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」(15.6%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「わからない」が32.0%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」(26.5%)、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」(10.2%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「わからない」が39.6%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」(17.0%)、「魅力を感じる要素はない」(11.0%)などが多くなっている。

図表2-24-2-1 年齢別子育て・教育環境の最も魅力的な点



「会社員・団体職員・公務員」は「保育施設（保育園等）が整備され充実している」の回答割合が高く、「自営業主・法人経営者等」は「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」の回答割合が高い。

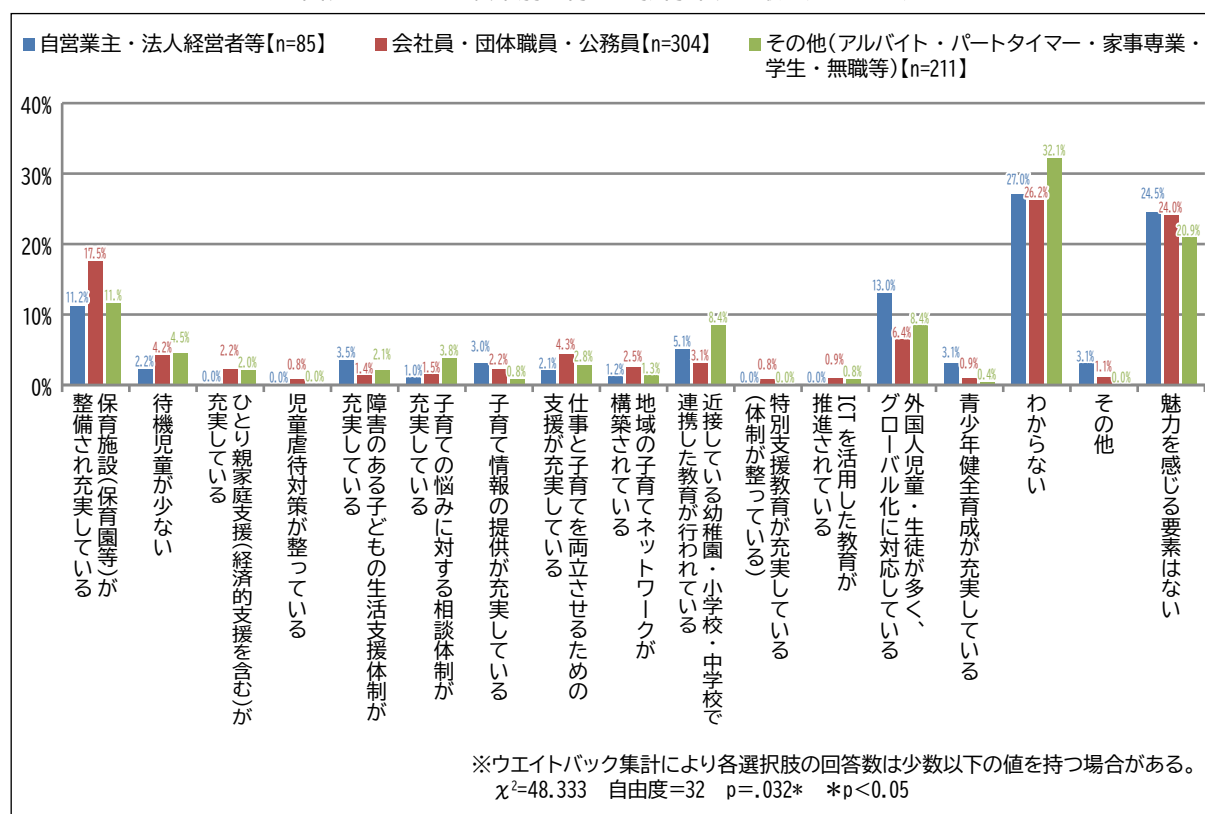
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「わからない」が27.0%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（24.5%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（13%）などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「わからない」が26.2%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（24%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（17.5%）などが多くなっている。

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「わからない」が32.1%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（20.9%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（11.6%）などが多くなっている。

図表2-24-2-2 職業別子育て・教育環境の最も魅力的な点



ウ 居住年数別子育て・教育環境の最も魅力的な点

港区

「2～5年未満」で「保育施設（保育園等）が整備され充実している」、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」の回答割合が高い。

■調査結果

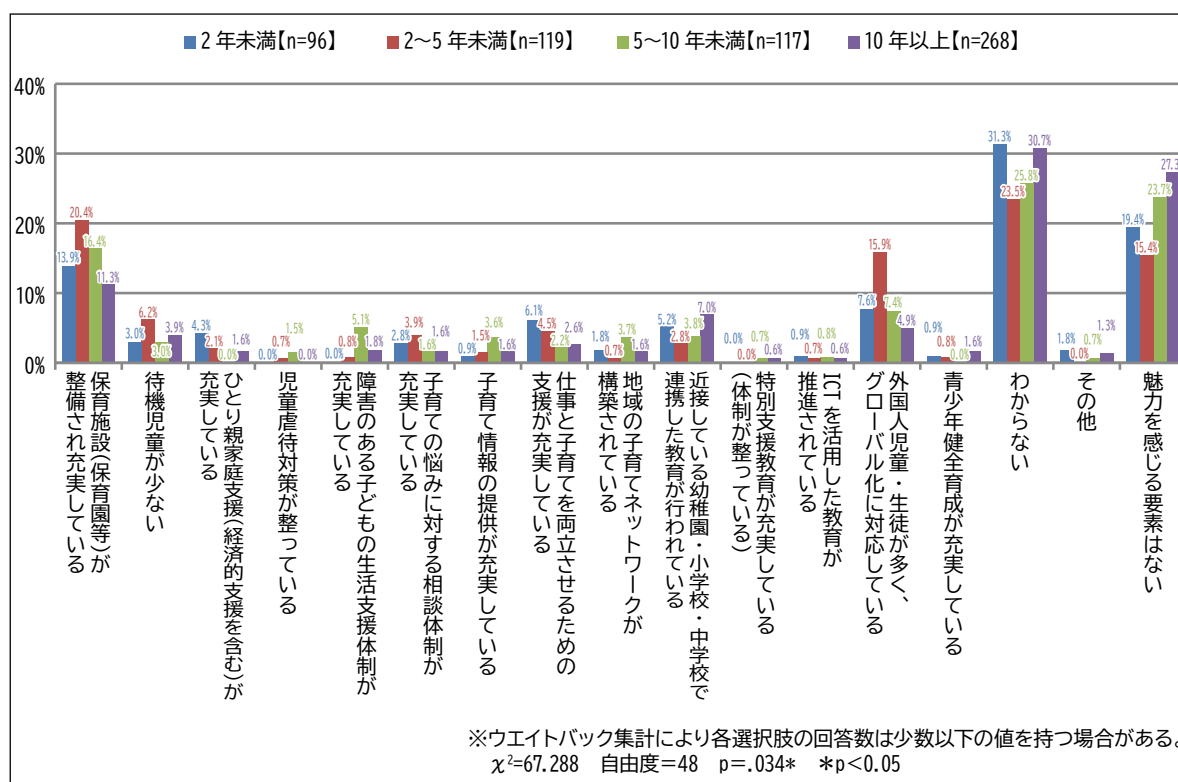
「2年未満」は、「わからない」が31.3%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（19.4%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（13.9%）などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「わからない」が23.5%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（20.4%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（15.9%）などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「わからない」が25.8%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（23.7%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（16.4%）などが多くなっている。

「10年以上」は、「わからない」が30.7%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（27.3%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（11.3%）などが多くなっている。

図表2-24-2-3 居住年数別子育て・教育環境の最も魅力的な点



「子ども0～6歳」で「保育施設（保育園等）が整備され充実している」の回答割合が高く、「子ども13～15歳」で「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」の回答割合が高い。

■調査結果

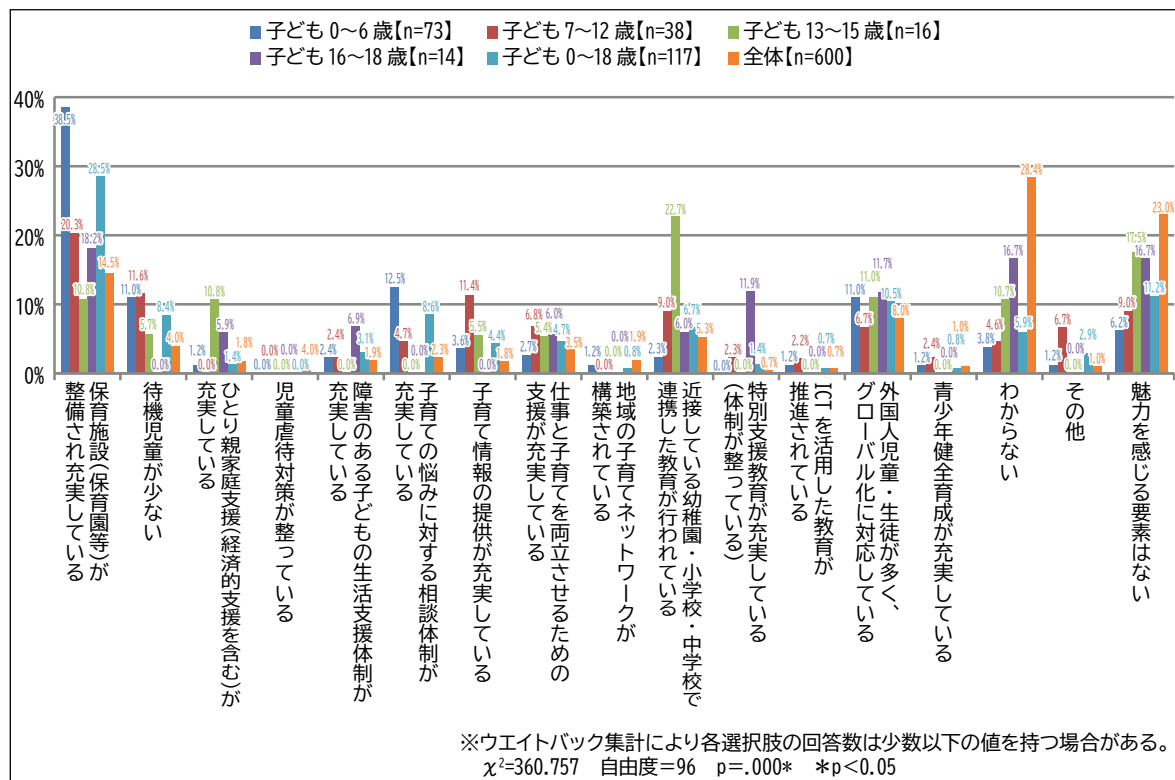
「子ども0～6歳」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が38.5%で最も多く、次いで「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」（12.5%）、「待機児童が少ない」（11.0%）などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が20.3%で最も多く、次いで「待機児童が少ない」（11.6%）、「子育て情報の提供が充実している」（11.4%）などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」が22.7%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（17.5%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（11.0%）などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が18.2%で最も多く、次いで「わからない」（16.7%）、「魅力を感じる要素はない」（16.7%）などが多くなっている。

図表2-24-2-4 子どもの年齢別子育て・教育環境の最も魅力的な点



オ 子育て・教育環境への評価別子育て・教育環境の最も魅力的な点

港区

子育て・教育環境への評価で「よい」や「ややよい」と回答した者が「保育施設（保育園等）が整備され充実している」と回答している割合が高い。

■調査結果

「よい」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が27.8%で最も多く、次いで「わからない」（12.9%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（12.2%）などが多くなっている。

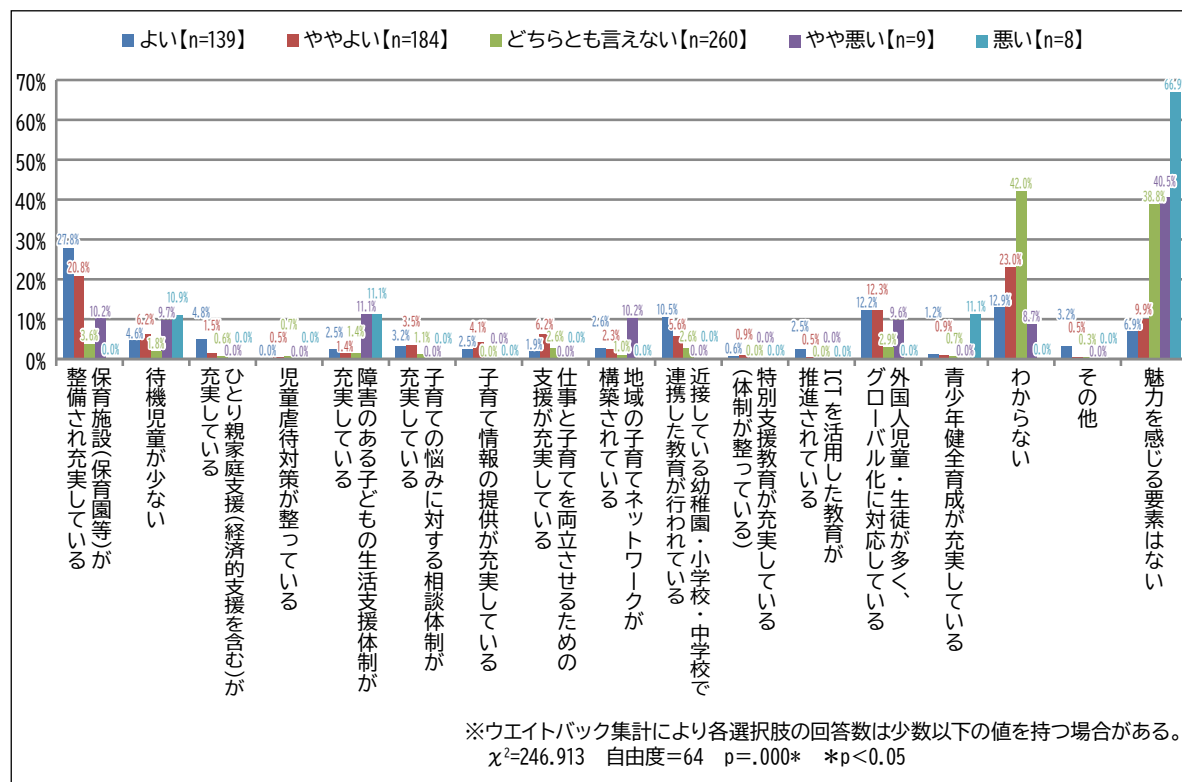
「ややよい」は、「わからない」が23%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（20.8%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（12.3%）などが多くなっている。

「どちらとも言えない」は、「わからない」が42%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（38.8%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（3.6%）などが多くなっている。

「やや悪い」は、「魅力を感じる要素はない」が40.5%で最も多く、次いで「障害のある子どもの生活支援体制が充実している」（11.1%）、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（10.2%）などが多くなっている。

「悪い」は、「魅力を感じる要素はない」が66.9%で最も多く、次いで「障害のある子どもの生活支援体制が充実している」（11.1%）、「青少年健全育成が充実している」（11.1%）が同率となっている。

図表2-24-2-5 子育て・教育環境への評価別子育て・教育環境の最も魅力的な点



各区とも「保育施設（保育園等）が整備され充実している」の回答割合が高い。
また、港区は「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」が、他区と比較して高い水準である。

■調査結果

「港区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が38.5%で最も多く、次いで「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」（12.5%）、「待機児童が少ない」（11.0%）などが多くなっている。

「千代田区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が40.7%で最も多く、次いで「待機児童が少ない」（24.6%）、「魅力を感じる要素はない」（12.7%）などが多くなっている。

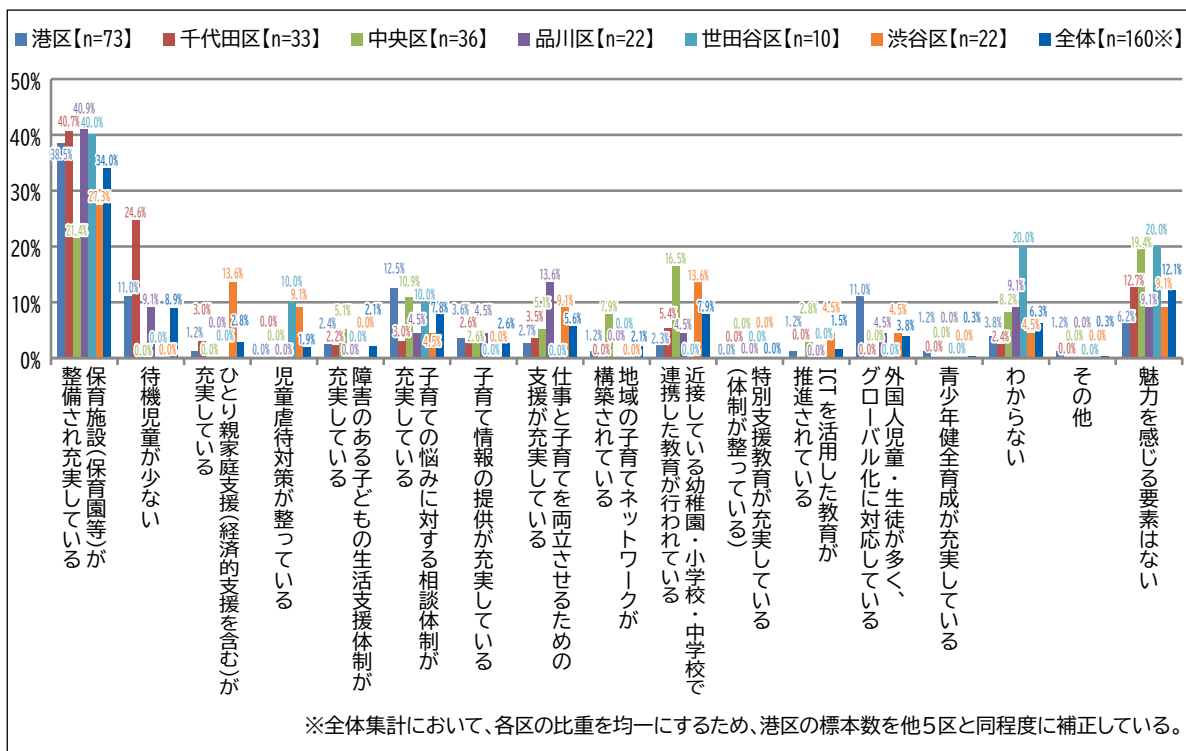
「中央区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が21.4%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（19.4%）、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（16.5%）などが多くなっている。

「品川区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が40.9%で最も多く、次いで「仕事と子育てを両立させるための支援が充実している」（13.6%）、「待機児童が少ない」（9.1%）などが多くなっている。

「世田谷区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が40%で最も多く、次いで「わからない」、「魅力を感じる要素はない」が20.0%で同率となっている。

「渋谷区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が27.3%で最も多く、次いで「ひとり親家庭支援（経済的支援を含む）」が13.6%で最も多く、次いで「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」が13.6%で同率となっている。

図表2-24-2-6 子育て・教育環境の最も魅力的な点（子どもの年齢0～6歳未満回答における比較）



キ 子育て・教育環境の最も魅力的な点（子どもの年齢0～18歳未満回答における比較）

6区

港区は「保育施設（保育園等）が整備され充実している」、「子育ての悩みに対する相談体制が充実している」、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」が、他区と比較して高い水準である。

■調査結果

「港区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が28.5%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」（11.2%）、「外国人児童・生徒が多く、グローバル化に対応している」（10.5%）などが多くなっている。

「千代田区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が29.4%で最も多く、次いで「待機児童が少ない」（19.7%）、「魅力を感じる要素はない」（13.6%）などが多くなっている。

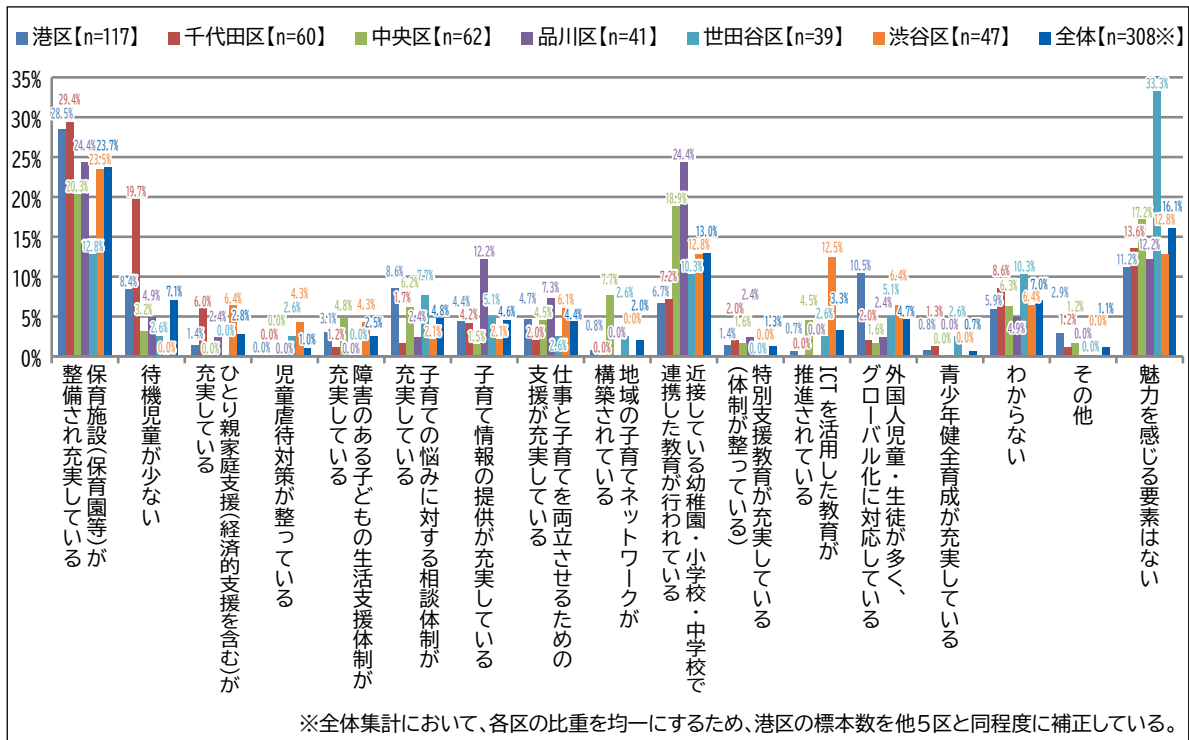
「中央区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が20.3%で最も多く、次いで「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（18.9%）、「魅力を感じる要素はない」（17.2%）などが多くなっている。

「品川区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が24.4%で最も多く、次いで「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（24.4%）、「子育て情報の提供が充実している」（12.2%）などが多くなっている。

「世田谷区」は、「魅力を感じる要素はない」が33.3%で最も多く、次いで「保育施設（保育園等）が整備され充実している」（12.8%）、「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」（10.3%）などが多くなっている。

「渋谷区」は、「保育施設（保育園等）が整備され充実している」が23.5%で最も多く、次いで「近接している幼稚園・小学校・中学校で連携した教育が行われている」、「魅力を感じる要素はない」が12.8%で同率となっている。

図表2-24-2-7 子育て・教育環境の最も魅力的な点（子どもの年齢0～18歳未満回答における比較）



25 地域イメージへの評価（問15（1））

問15（1） あなたがお住まいの区における地域イメージに関する評価をお答えください。

1 よい 2 ややよい 3 どちらとも言えない 4 やや悪い 5 悪い

（1） 基本集計結果

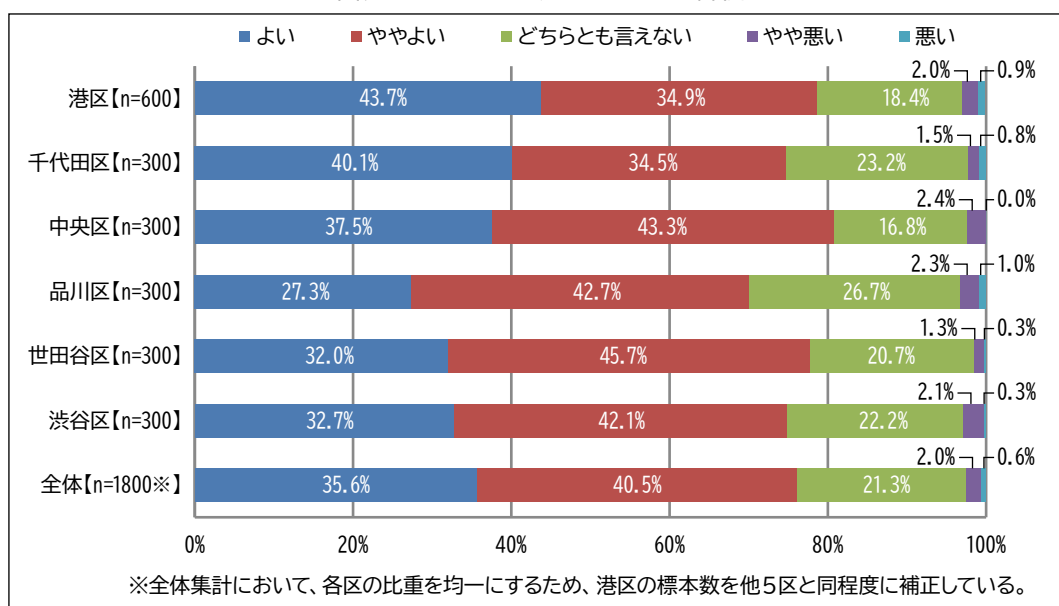
6区

港区は「よい」が43.7%で、6区のうち最も高い。

■調査結果

港区は、「よい」が43.7%で最も多く、次いで「ややよい」(34.9%)、「どちらとも言えない」(18.4%)などが多くなっている。

図表2-25-1-1 地域イメージへの評価



(2) クロス集計結果

ア 年齢別地域イメージへの評価

港区

年齢が高いほど評価が高い傾向がある。

■調査結果

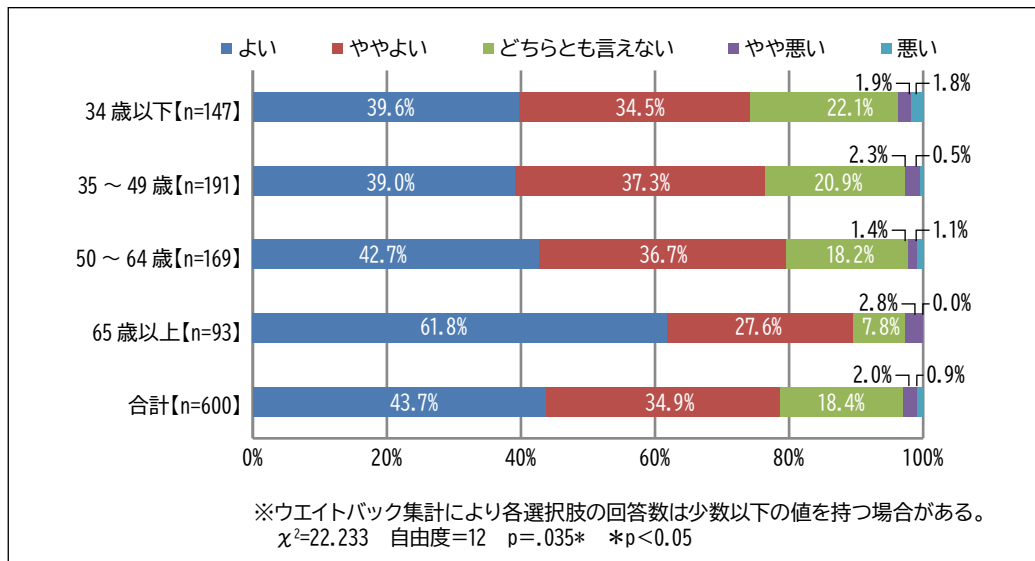
「34歳以下」は、「よい」が39.6%で最も多く、次いで「ややよい」(34.5%)、「どちらとも言えない」(22.1%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「よい」が39.0%で最も多く、次いで「ややよい」(37.3%)、「どちらとも言えない」(20.9%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「よい」が42.7%で最も多く、次いで「ややよい」(36.7%)、「どちらとも言えない」(18.2%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「よい」が61.8%で最も多く、次いで「ややよい」(27.6%)、「どちらとも言えない」(7.8%)などが多くなっている。

図表2-25-2-1 年齢別地域イメージへの評価



26 地域イメージの魅力的な点（問15（2））

問15（2） 地域イメージとして魅力を感じる要素をお答えください。（複数回答）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 景観・街並みのデザインやセンスがよい | 13 子育て環境が整備されている |
| 2 道路や交通の便がよい | 14 生涯学習の機会が充実している |
| 3 生活に便利である | 15 スポーツが盛んである |
| 4 魅力的な商店街や店舗がある | 16 国際性が豊かである |
| 5 地場産業が盛んである | 17 歴史的・文化的である |
| 6 防災面における安全性が高い | 18 IT・先端技術が普及している |
| 7 治安がよい | 19 地域コミュニティの活動が盛んである |
| 8 環境に配慮されている | 20 人がやさしく、おもてなしがよい |
| 9 自然が豊かである | 21 わからない |
| 10 公園が充実している | 22 その他 |
| 11 医療機関が充実している | 23 魅力を感じる要素はない |
| 12 高齢者・障害者向けの福祉環境が充実している | |

（1）基本集計結果

6区

いずれの区でも「道路や交通の便がよい」が1位又は2位に入っており、港区は6区中5位である。港区は「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が42.9%で6区中最も高い。

■調査結果

港区は、「道路や交通の便がよい」が62.4%で最も多く、次いで「生活に便利である」（49.7%）、「治安がよい」（43.3%）などが多くなっている。

図表2-26-1-1 地域イメージの魅力的な点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1,800 ※】
第1位	道路や交通の 便がよい 62.4%	道路や交通の 便がよい 63.7%	道路や交通の 便がよい 71.7%	道路や交通の 便がよい 62.7%	生活に便利で ある 65.3%	道路や交通の 便がよい 66.9%	道路や交通の 便がよい 62.9%
第2位	生活に便利で ある 49.7%	治安がよい 37.9%	治安がよい 56.5%	生活に便利で ある 62.0%	道路や交通の 便がよい 50.3%	生活に便利で ある 61.8%	生活に便利で ある 55.2%
第3位	治安がよい 43.3%	生活に便利で ある 37.3%	生活に便利で ある 55.2%	治安がよい 46.3%	治安がよい 45.0%	治安がよい 33.6%	治安がよい 43.8%
第4位	景観・街並みの デザインや センスがよい 42.9%	医療機関が充 実している 25.7%	景観・街並みの デザインや センスがよい 35.5%	魅力的な商店 街や店舗があ る 25.0%	公園が充実し ている 28.0%	魅力的な商店 街や店舗があ る 28.0%	景観・街並みの デザインや センスがよい 29.0%
第5位	医療機関が充 実している 32.0%	景観・街並みの デザインや センスがよい 23.4%	魅力的な商店 街や店舗があ る 30.2%	医療機関が充 実している 22.7%	景観・街並みの デザインや センスがよい / 魅力的な商店 街や店舗があ る 26.7%	景観・街並みの デザインや センスがよい 27.6%	医療機関が充 実している 25.0%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別地域イメージの魅力的な点

港区

年齢が高いほど「道路や交通の便がよい」、「治安がよい」、「生活に便利である」など評価が高い項目が多い。また、「34歳以下」は「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が56.3%と突出して高い。

■調査結果

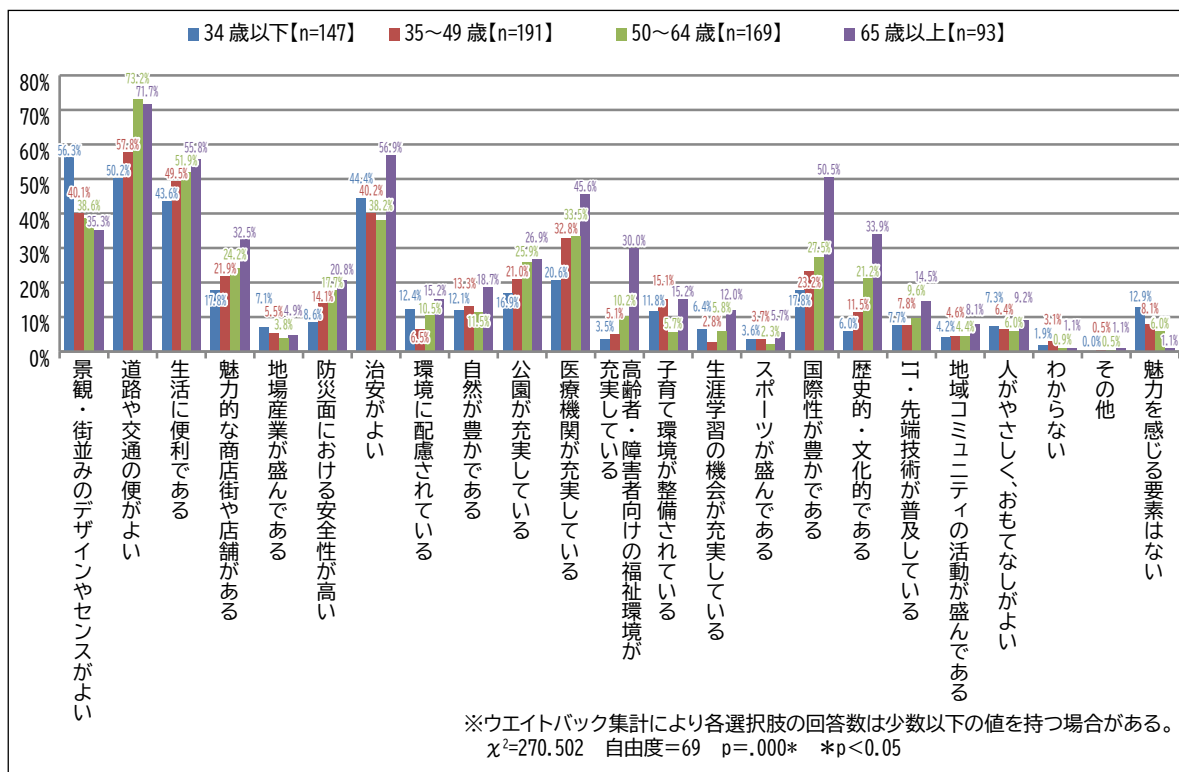
「34歳以下」は、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が56.3%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」(50.2%)、「治安がよい」(44.4%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「道路や交通の便がよい」が57.8%で最も多く、次いで「生活に便利である」(49.5%)、「治安がよい」(40.2%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「道路や交通の便がよい」が73.2%で最も多く、次いで「生活に便利である」(51.9%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(38.6%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「道路や交通の便がよい」が71.7%で最も多く、次いで「治安がよい」(56.9%)、「生活に便利である」(55.8%)などが多くなっている。

図表2-26-2-1 年齢別地域イメージの魅力的な点



港区

「自営業主・法人経営者等」の評価が高い傾向にあり、「防災面における安全性が高い」、「公園が充実している」、「国際性が豊かである」、「歴史的・文化的である」、「IT・先端技術が普及している」では他方より相対的に高い。

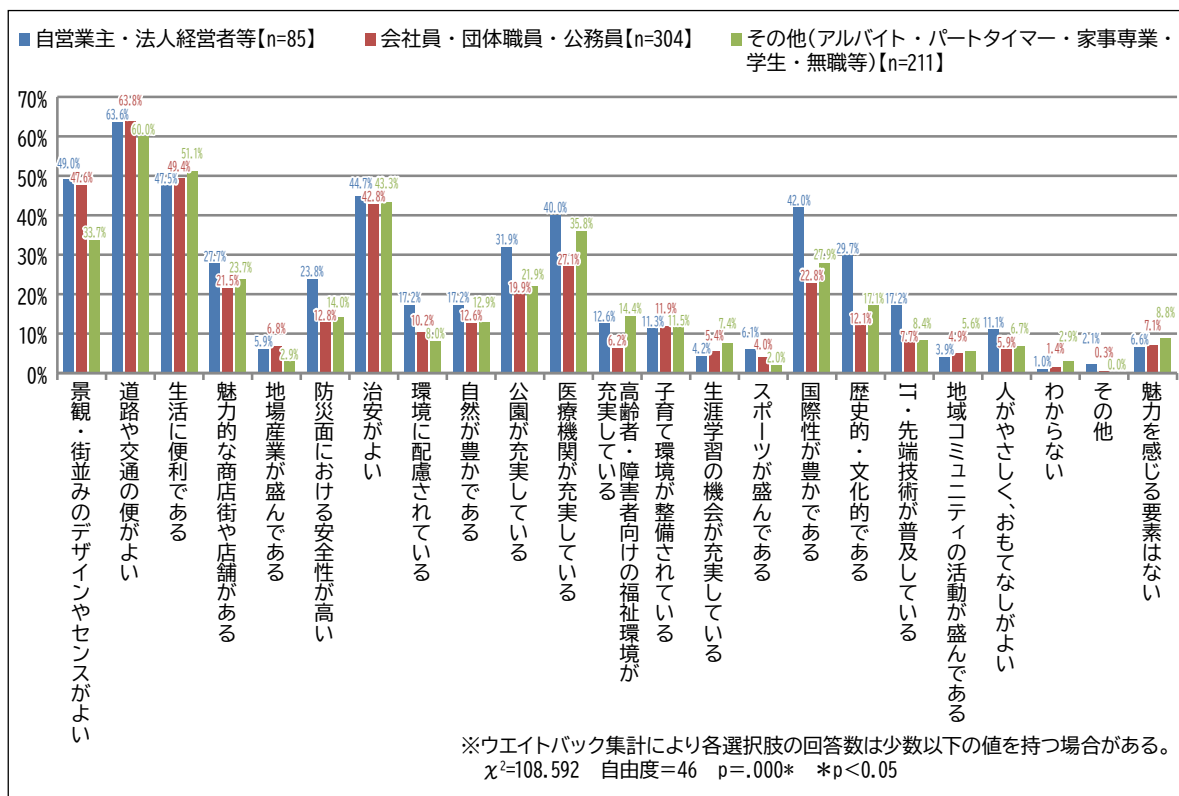
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「道路や交通の便がよい」が63.6%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(49.0%)、「生活に便利である」(47.5%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「道路や交通の便がよい」が63.8%で最も多く、次いで「生活に便利である」(49.4%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(47.6%)などが多くなっている。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「道路や交通の便がよい」が60.0%で最も多く、次いで「生活に便利である」(51.1%)、「治安がよい」(43.3%)などが多くなっている。

図表2-26-2-2 職業別地域イメージの魅力的な点



ウ 居住年数別地域イメージの魅力的な点

港区

居住年数が長いほど「医療機関が充実している」の回答割合が高く、居住年数が短いほど「景観・街並みのデザインやセンスがよい」、「治安がよい」の割合が高い。

■ 調査結果

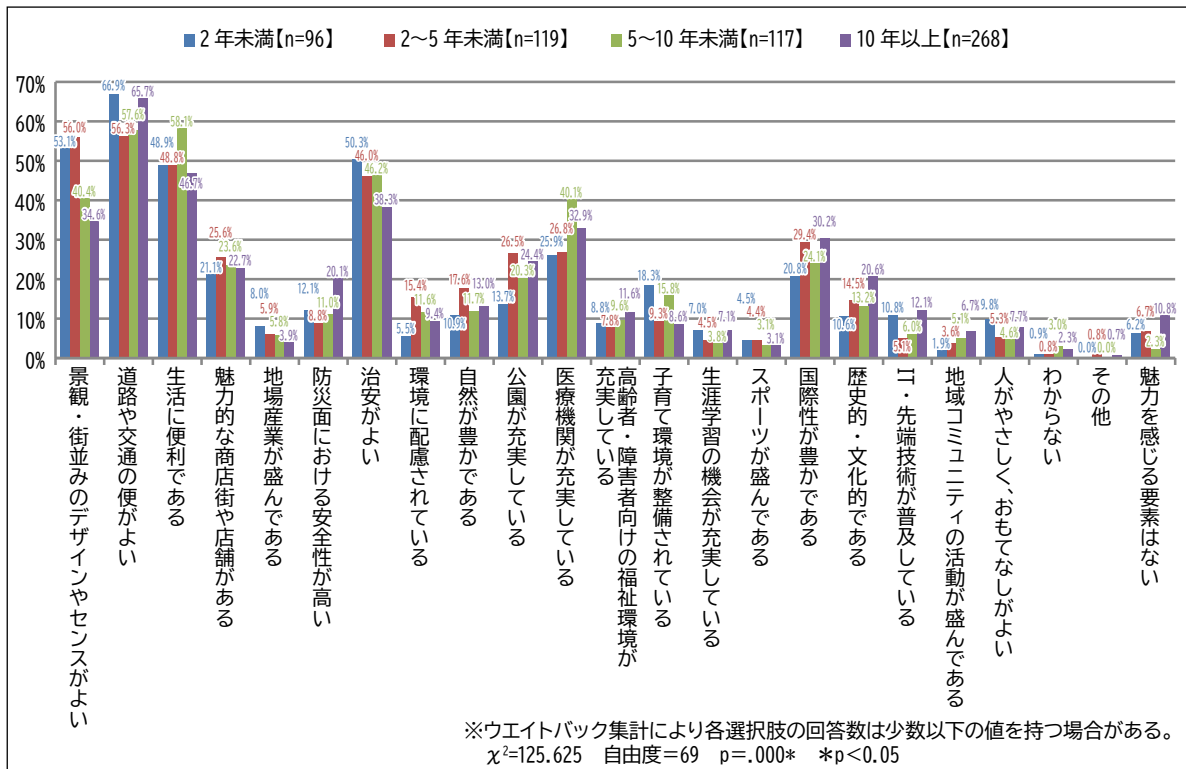
「2年未満」は、「道路や交通の便がよい」が66.9%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(53.1%)、「治安がよい」(50.3%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「道路や交通の便がよい」が56.3%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(56.0%)、「生活に便利である」(48.8%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「生活に便利である」が58.1%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」(57.6%)、「治安がよい」(46.2%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「道路や交通の便がよい」が65.7%で最も多く、次いで「生活に便利である」(46.7%)、「治安がよい」(38.3%)などが多くなっている。

図表2-26-2-3 居住年数別地域イメージの魅力的な点



港区

「子ども0～6歳」は「景観・街並みのデザインやセンスがよい」、「治安がよい」、「公園が充実している」が相対的に高い。

■調査結果

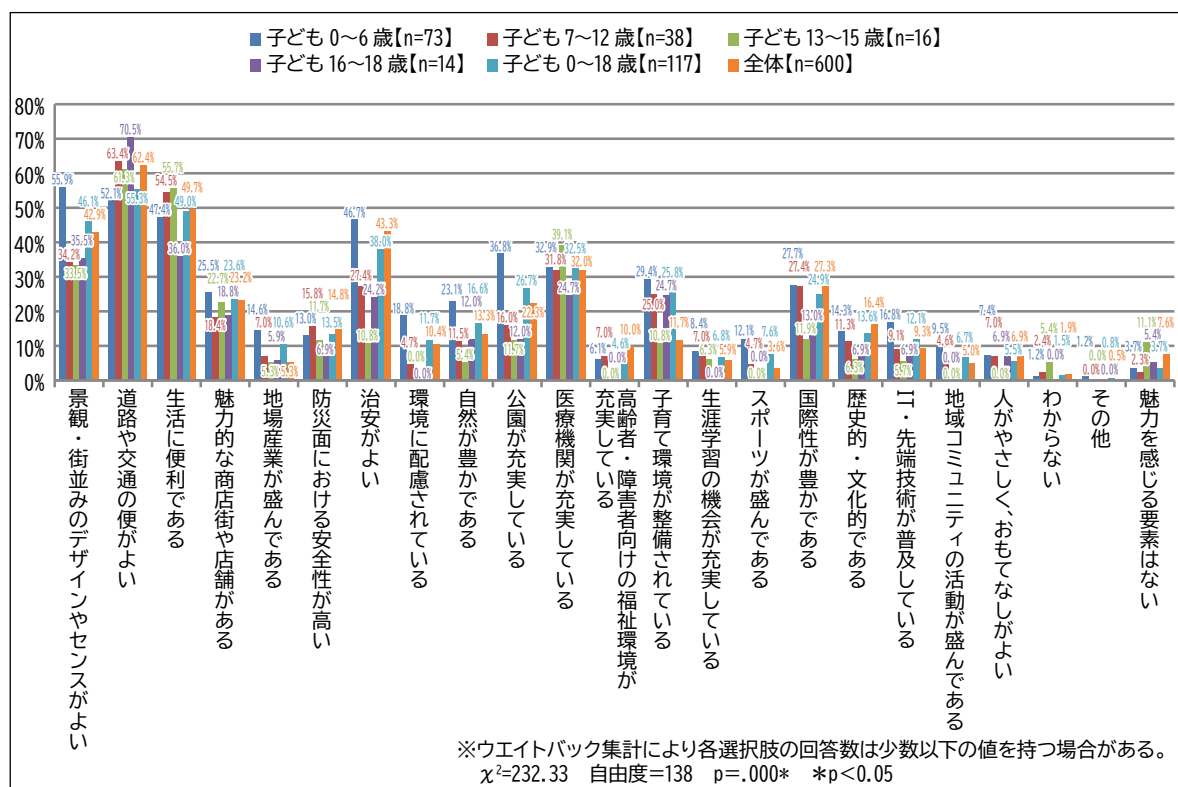
「子ども0～6歳」は、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が55.9%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」(52.1%)、「生活に便利である」(47.4%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「道路や交通の便がよい」が63.4%で最も多く、次いで「生活に便利である」(54.5%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(34.2%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「道路や交通の便がよい」が61.3%で最も多く、次いで「生活に便利である」(55.7%)、「医療機関が充実している」(39.1%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「道路や交通の便がよい」が70.5%で最も多く、次いで「生活に便利である」(36%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(35.5%)などが多くなっている。

図表2-26-2-4 子どもの年齢別地域イメージの魅力的な点



オ 地域イメージへの評価別地域イメージの魅力的な点

港区

地域イメージへの評価で「よい」や「ややよい」と回答した者は、「道路や交通の便がよい」、「生活に便利である」、「治安がよい」、「景観・街並みのデザインやセンスが良い」等と回答している割合が高い

■調査結果

「よい」は、「道路や交通の便がよい」が73.2%で最も多く、次いで「生活に便利である」(63.3%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(58.1%)などが多くなっている。

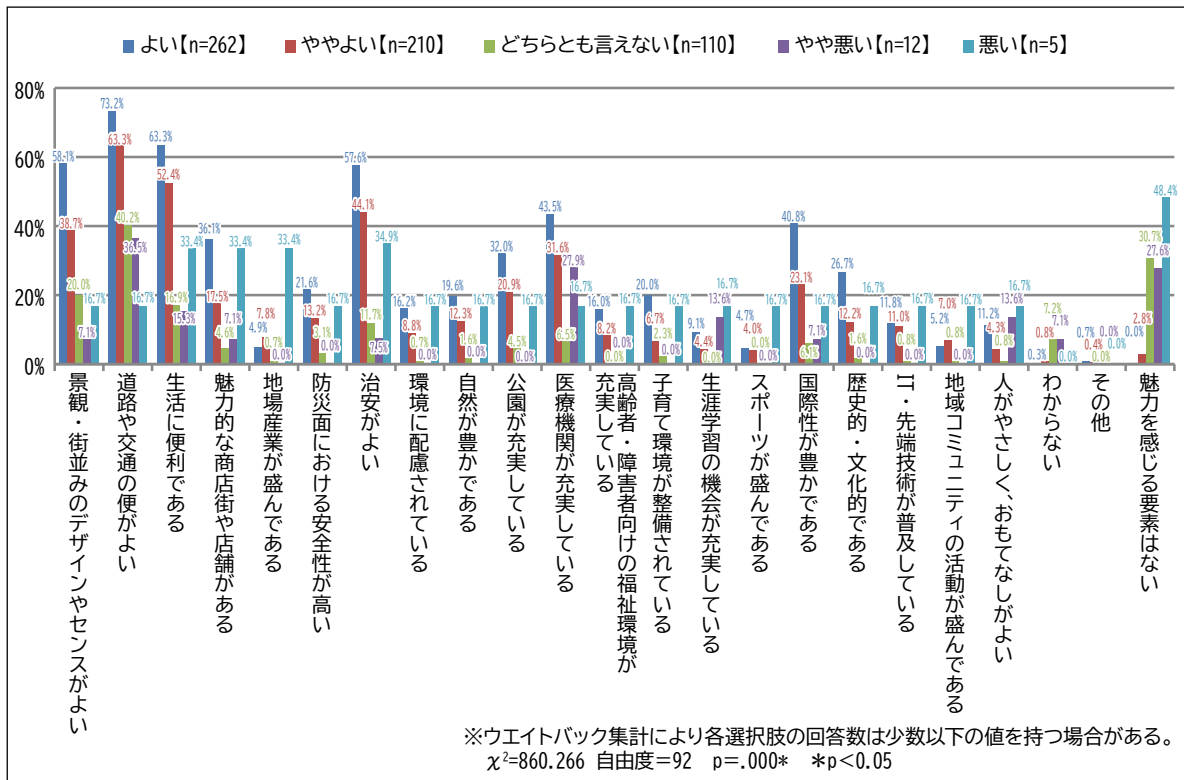
「ややよい」は、「道路や交通の便がよい」が63.3%で最も多く、次いで「生活に便利である」(52.4%)、「治安がよい」(44.1%)などが多くなっている。

「どちらとも言えない」は、「道路や交通の便がよい」が40.2%で最も多く、次いで「魅力を感じる要素はない」(30.7%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(20.0%)などが多くなっている。

「やや悪い」は、「道路や交通の便がよい」が36.5%で最も多く、次いで「医療機関が充実している」(27.9%)、

「魅力を感じる要素はない」(27.6%)などが多くなっている。「悪い」は、「魅力を感じる要素はない」が48.4%で最も多く、次いで「治安がよい」(34.9%)、「生活に便利である」(33.4%)などが多くなっている。

図表2-26-2-5 地域イメージへの評価別地域イメージの魅力的な点



カ 地域イメージの魅力的な点（子どもの年齢0～18歳未満回答における比較）

6区

港区は「子育て環境が整備されている」、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」、「医療機関が充実している」、「国際性が豊かである」の回答割合が他区と比較して高い。

■調査結果

「港区」は、「道路や交通の便がよい」が55.3%で最も多く、次いで「生活に便利である」（49.0%）、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」（46.1%）などが多くなっている。

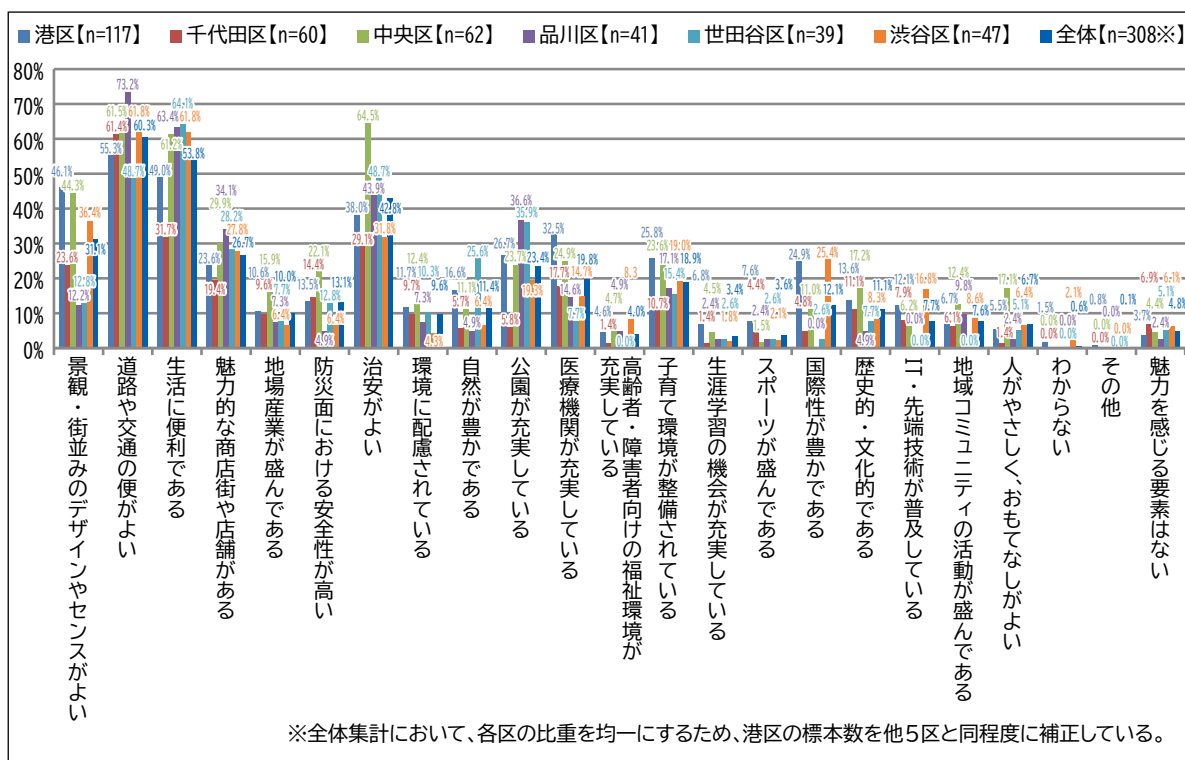
「千代田区」は、「道路や交通の便がよい」が61.4%で最も多く、次いで「生活に便利である」（31.7%）、「治安がよい」（29.1%）などが多くなっている。

「中央区」は、「治安がよい」が64.5%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」（61.5%）、「生活に便利である」（61.2%）などが多くなっている。

「品川区」は、「道路や交通の便がよい」が73.2%で最も多く、次いで「生活に便利である」（63.4%）、「治安がよい」（43.9%）などが多くなっている。

「世田谷区」は、「生活に便利である」が64.1%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」（48.7%）、「治安がよい」（48.7%）などが多くなっている。

図表2-26-2-6 地域イメージの魅力的な点（子どもの年齢0～18歳未満回答における比較）



27 地域イメージの最も魅力的な点（問15（3））

問15（3） 地域イメージとして魅力を感じる要素のうち、最も当てはまるもの

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 景観・街並みのデザインやセンスがよい | 13 子育て環境が整備されている |
| 2 道路や交通の便がよい | 14 生涯学習の機会が充実している |
| 3 生活に便利である | 15 スポーツが盛んである |
| 4 魅力的な商店街や店舗がある | 16 国際性が豊かである |
| 5 地場産業が盛んである | 17 歴史的・文化的である |
| 6 防災面における安全性が高い | 18 IT・先端技術が普及している |
| 7 治安がよい | 19 地域コミュニティの活動が盛んである |
| 8 環境に配慮されている | 20 人がやさしく、おもてなしがよい |
| 9 自然が豊かである | 21 わからない |
| 10 公園が充実している | 22 その他 |
| 11 医療機関が充実している | 23 魅力を感じる要素はない |
| 12 高齢者・障害者向けの福祉環境が充実している | |

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「道路や交通の便がよい」が1位又は2位に入っており、港区は「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が6区中最も高いなど、「地域イメージの魅力的な点（問15（2））」と同様の傾向がみられる。

■調査結果

港区は、「道路や交通の便がよい」が28.7%で最も多く、次いで「生活に便利である」（15.0%）、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」（14.6%）などが多くなっている。

図表2-27-1-1 地域イメージの最も魅力的な点

	港区 【n=600】	千代田区 【n=300】	中央区 【n=300】	品川区 【n=300】	世田谷区 【n=300】	渋谷区 【n=300】	全体 【n=1,800 ※】
第1位	道路や交通の便がよい 28.7%	道路や交通の便がよい 40.8%	道路や交通の便がよい 36.2%	道路や交通の便がよい 32.0%	生活に便利である 30.0%	道路や交通の便がよい 36.0%	道路や交通の便がよい 32.2%
第2位	生活に便利である 15.0%	景観・街並みのデザインやセンスがよい 11.2%	治安がよい 16.7%	生活に便利である 27.3%	道路や交通の便がよい 19.7%	生活に便利である 24.7%	生活に便利である 20.2%
第3位	景観・街並みのデザインやセンスがよい 14.6%	魅力を感じる要素はない 10.6%	生活に便利である 14.8%	魅力を感じる要素はない 9.3%	治安がよい 13.7%	魅力を感じる要素はない 8.3%	治安がよい 11.0%
第4位	治安がよい 11.8%	治安がよい 10.3%	景観・街並みのデザインやセンスがよい 11.1%	治安がよい 7.7%	魅力を感じる要素はない 8.0%	景観・街並みのデザインやセンスがよい 7.3%	景観・街並みのデザインやセンスがよい 9.2%
第5位	魅力を感じる要素はない 7.6%	生活に便利である 9.2%	魅力を感じる要素はない 6.3%	魅力的な商店街や店舗がある 7.0%	景観・街並みのデザインやセンスがよい 7.7%	治安がよい 6.0%	魅力を感じる要素はない 8.3%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別地域イメージの最も魅力的な点

港区

年齢が低い回答者は、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」、「治安がよい」などの評価が高く、年齢が高い回答者は「道路や交通の便がよい」、「生活に便利である」などの評価が高い。

■調査結果

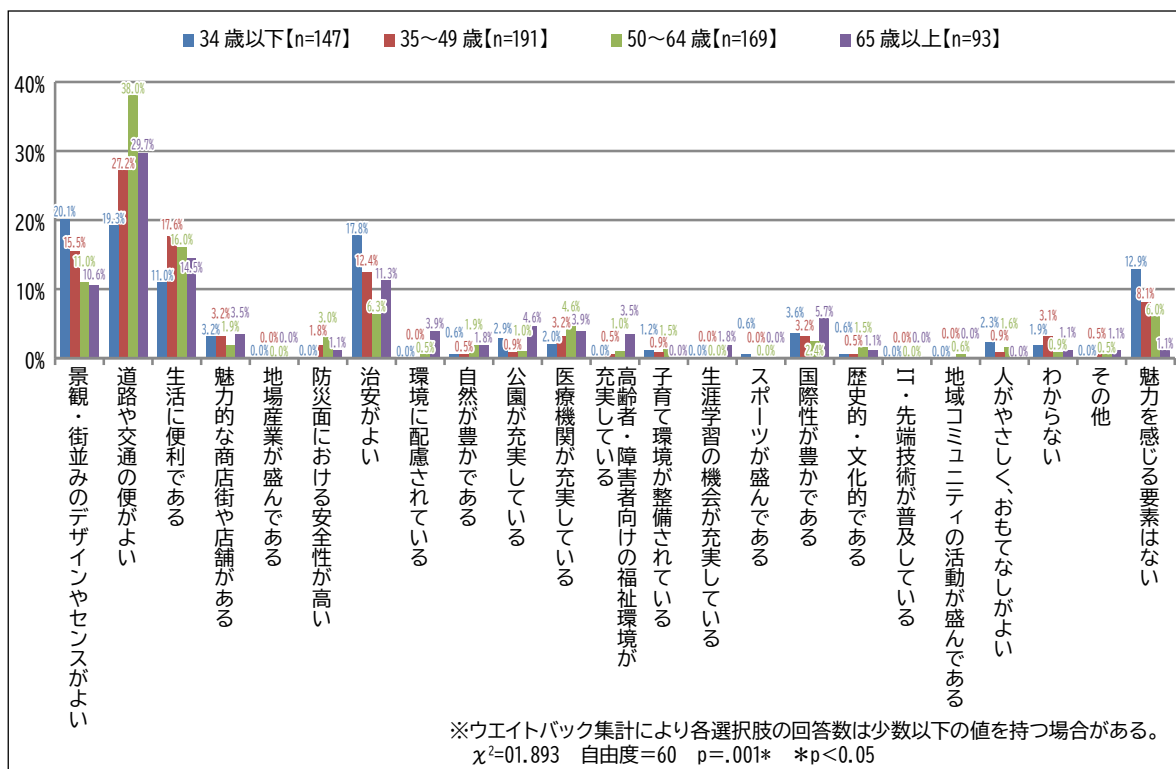
「34歳以下」は、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が20.1%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」（19.3%）、「治安がよい」（17.8%）などが多くなっている。

「35～49歳」は、「道路や交通の便がよい」が27.2%で最も多く、次いで「生活に便利である」（17.6%）、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」（15.5%）などが多くなっている。

「50～64歳」は、「道路や交通の便がよい」が38.0%で最も多く、次いで「生活に便利である」(16%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(11.0%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「道路や交通の便がよい」が29.7%で最も多く、次いで「生活に便利である」(14.5%)、「治安がよい」(11.3%)などが多くなっている。

図表2-27-2-1 年齢別地域イメージの最も魅力的な点



イ 職業別地域イメージの最も魅力的な点

港区

いずれの職業においても「道路や交通の便がよい」の評価が最も高い。
 また、「自営業主・法人経営者等」は、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が相対的に高い。

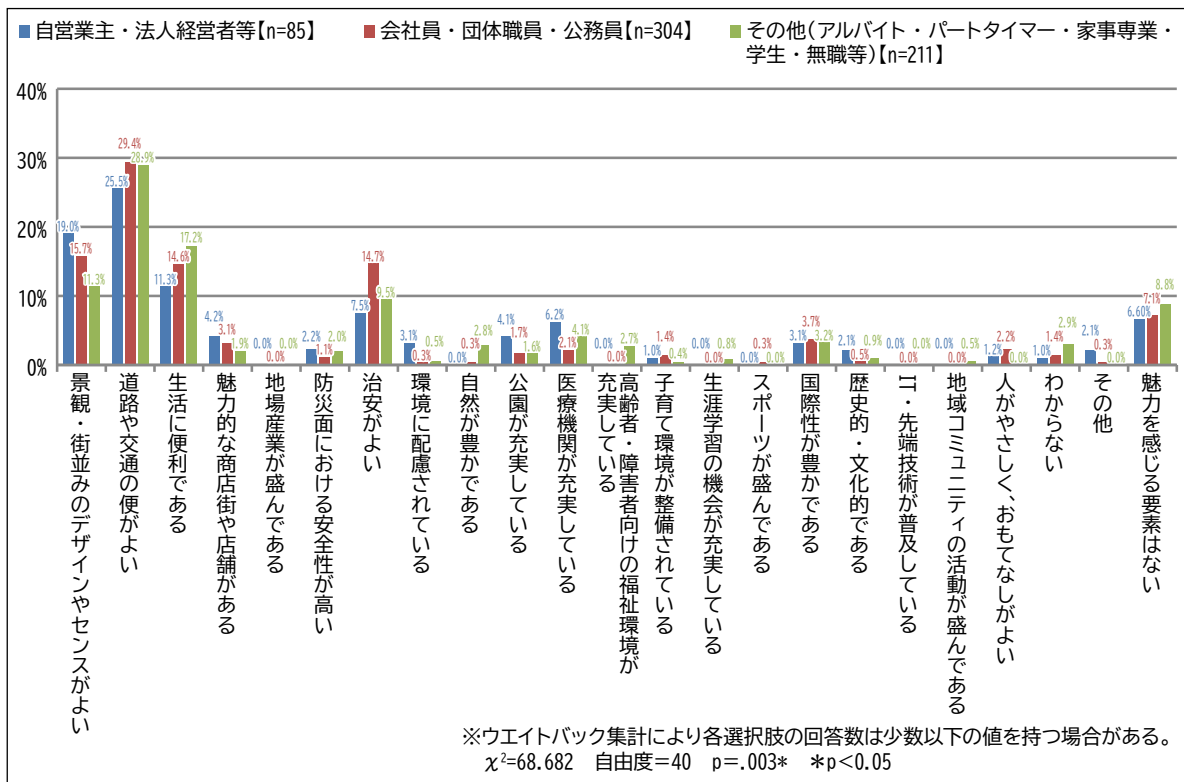
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「道路や交通の便がよい」が25.5%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(19.0%)、「生活に便利である」(11.3%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「道路や交通の便がよい」が29.4%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(15.7%)、「治安がよい」(14.7%)などが多くなっている。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「道路や交通の便がよい」が28.9%で最も多く、次いで「生活に便利である」(17.2%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(11.3%)などが多くなっている。

図表2-27-2-2 職業別地域イメージの最も魅力的な点



港区

居住年数5年以上の「道路や交通の便がよい」の回答割合が相対的に高い。

■調査結果

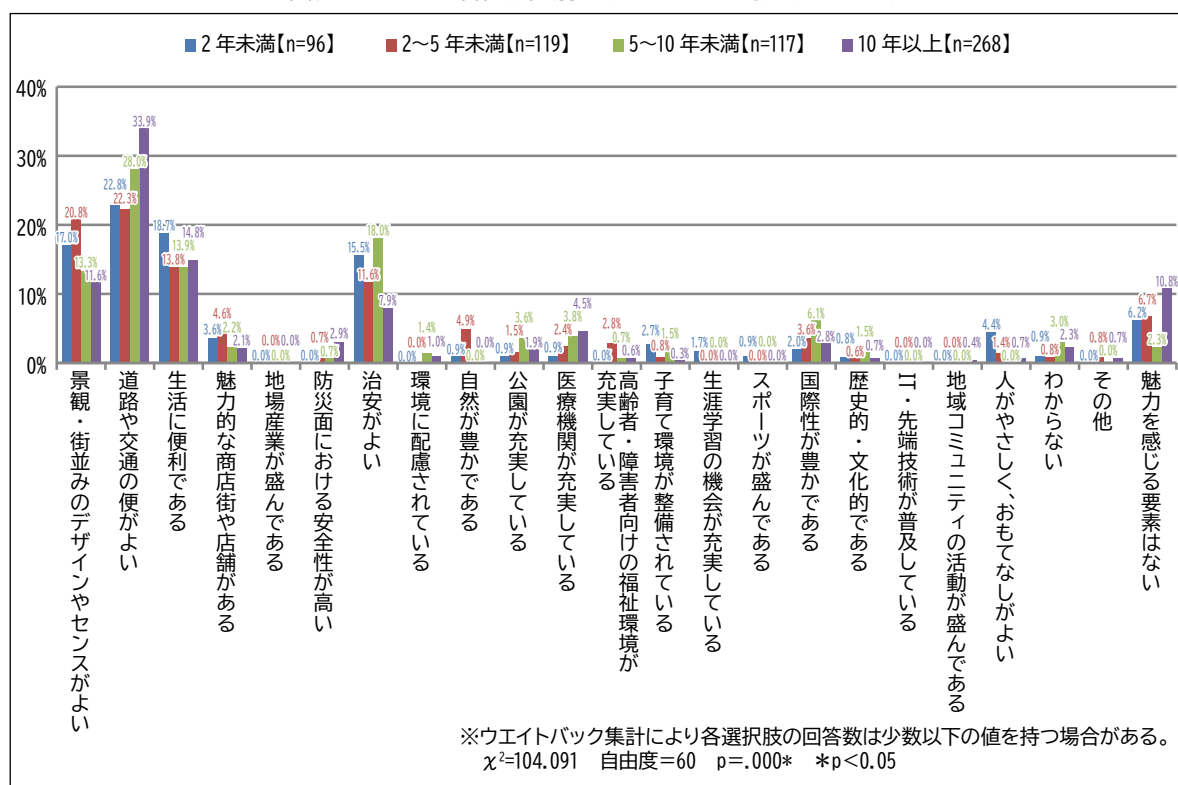
「2年未満」は、「道路や交通の便がよい」が22.8%で最も多く、次いで「生活に便利である」(18.7%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(17.0%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「道路や交通の便がよい」が22.3%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(20.8%)、「生活に便利である」(13.8%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「道路や交通の便がよい」が28.0%で最も多く、次いで「治安がよい」(18.0%)、「生活に便利である」(13.9%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「道路や交通の便がよい」が33.9%で最も多く、次いで「生活に便利である」(14.8%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(11.6%)などが多くなっている。

図表2-27-2-3 居住期間別地域イメージの最も魅力的な点



エ 子どもの年齢別地域イメージの最も魅力的な点

港区

子どもの年齢が高いほど、「道路や交通の便がよい」が高い傾向があり、子どもの年齢が低いほど「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が高い傾向がある。

■調査結果

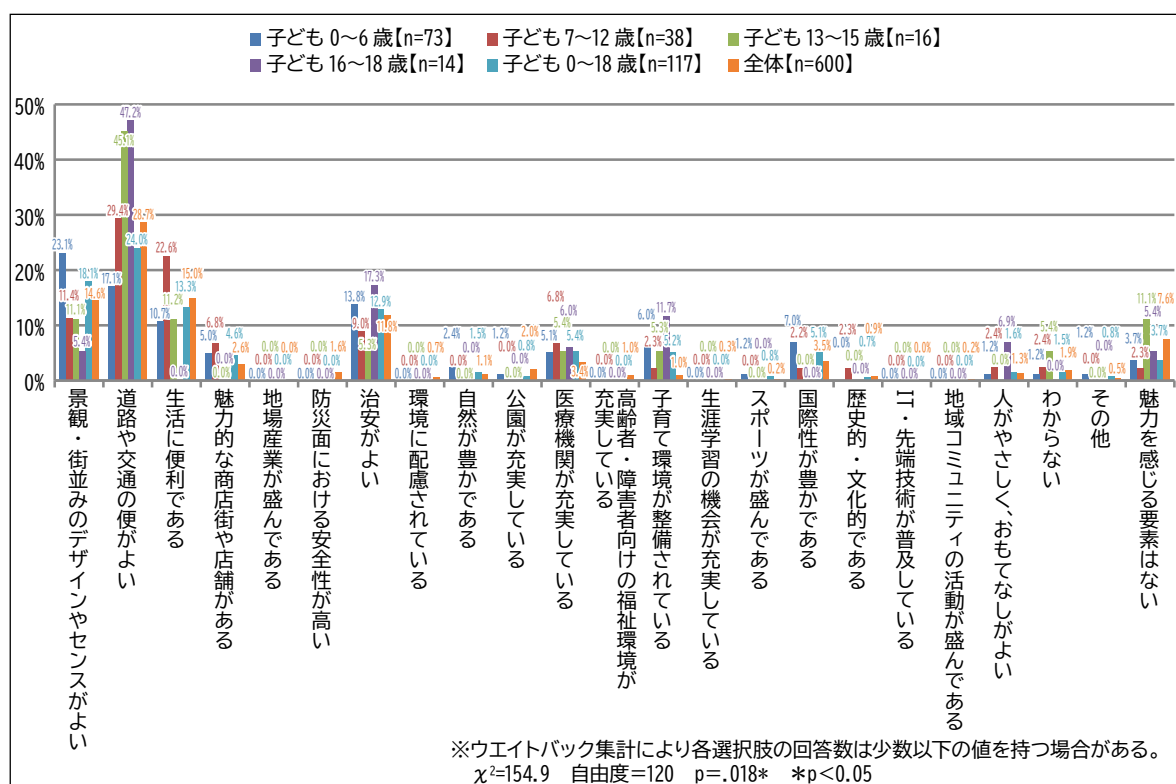
「子ども0～6歳」は、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」が23.1%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」(17.1%)、「治安がよい」(13.8%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「道路や交通の便がよい」が29.4%で最も多く、次いで「生活に便利である」(22.6%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(11.4%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「道路や交通の便がよい」が45.1%で最も多く、次いで「生活に便利である」(11.2%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(11.1%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「道路や交通の便がよい」が47.2%で最も多く、次いで「治安がよい」(17.3%)、「子育て環境が整備されている」(11.7%)などが多くなっている。

図表2-27-2-4 子どもの年齢別地域イメージの最も魅力的な点



オ 地域イメージへの評価別地域イメージの最も魅力的な点

港区

地域イメージへの評価で「よい」や「ややよい」と回答した者は、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」、「生活に便利である」「治安がよい」と回答している割合が高い傾向がある。

■調査結果

「よい」は、「道路や交通の便がよい」が25.8%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(19.9%)、「生活に便利である」(17.8%)などが多くなっている。

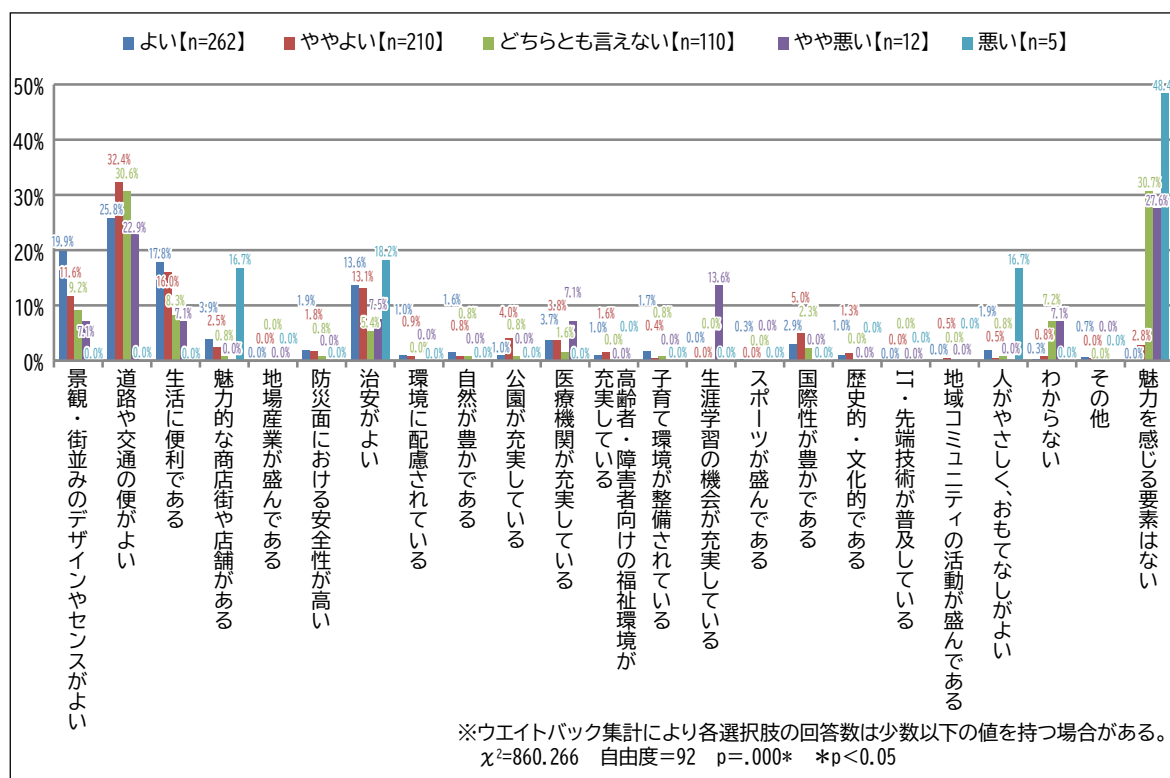
「ややよい」は、「道路や交通の便がよい」が32.4%で最も多く、次いで「生活に便利である」(16%)、「治安がよい」(13.1%)などが多くなっている。

「どちらとも言えない」は、「魅力を感じる要素はない」が30.7%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」(30.6%)、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」(9.2%)などが多くなっている。

「やや悪い」は、「魅力を感じる要素はない」が27.6%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」(22.9%)、「生涯学習の機会が充実している」(13.6%)などが多くなっている。

「悪い」は、「魅力を感じる要素はない」が48.4%で最も多く、次いで「治安がよい」(18.2%)、「魅力的な商店街や店舗がある」(16.7%)などが多くなっている。

図表2-27-2-5 地域イメージへの評価別地域イメージの最も魅力的な点



6区

港区は「景観・街並みのデザインやセンスがよい」、「医療機関が充実している」、「国際性が豊かである」の回答割合が他区より高く、「生活に便利である」は低い傾向にある。

■調査結果

「港区」は、「道路や交通の便がよい」が24%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」（18.1%）、「生活に便利である」（13.3%）などが多くなっている。

「千代田区」は、「道路や交通の便がよい」が26.4%で最も多く、次いで「景観・街並みのデザインやセンスがよい」（18.4%）、「生活に便利である」（15.9%）などが多くなっている。

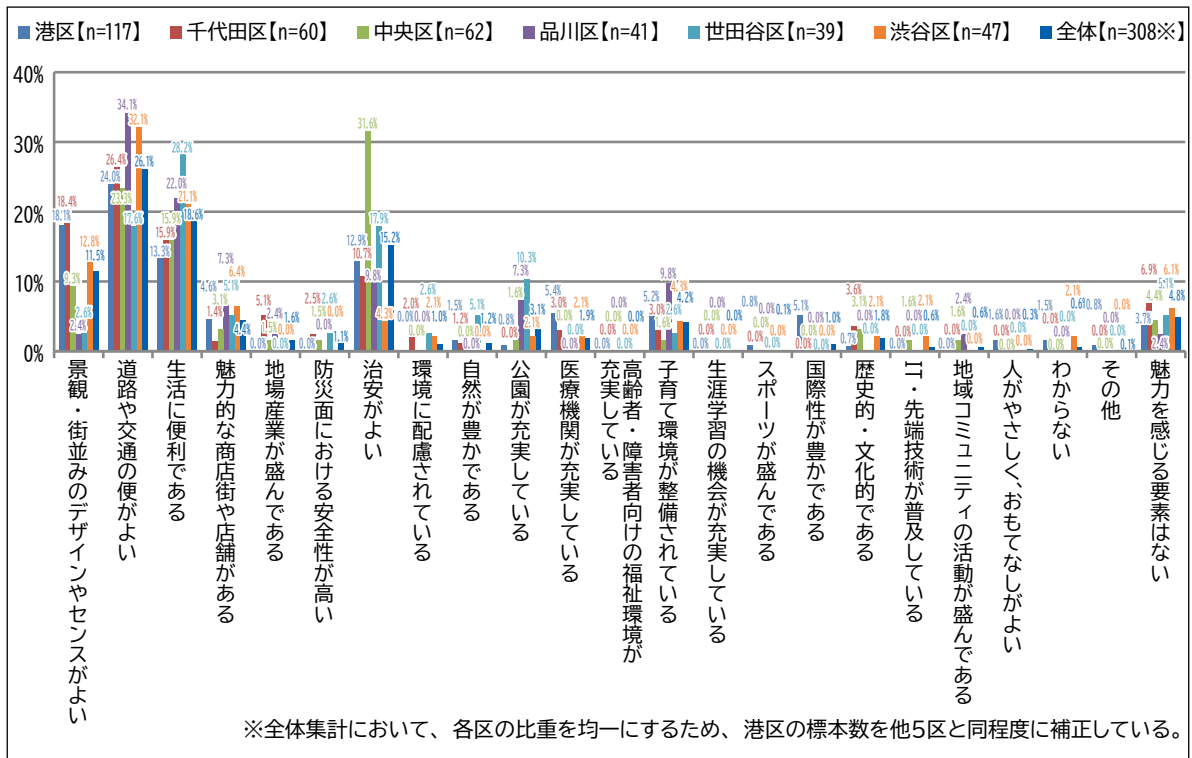
「中央区」は、「治安がよい」が31.6%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」（23.3%）、「生活に便利である」（15.9%）などが多くなっている。

「品川区」は、「道路や交通の便がよい」が34.1%で最も多く、次いで「生活に便利である」（22%）、「治安がよい」（9.8%）などが多くなっている。

「世田谷区」は、「生活に便利である」が28.2%で最も多く、次いで「道路や交通の便がよい」、「治安がよい」が17.9%で同率となっている。

「渋谷区」は、「道路や交通の便がよい」が32.1%で最も多く、次いで「生活に便利である」（21.1%）、「景観・街並みのデザインやセンスがよい」（12.8%）などが多くなっている。

図表2-27-2-6 地域イメージの最も魅力的な点（子どもの年齢0～18歳未満回答における比較）



28 転出の予定・希望（問16）

問16 将来の引越し予定についてお答えください。

- 1 ずっと現在の区内に住み続けたい
- 2 当分は現在の区内に住んでいたい
- 3 しばらくは現在の区内に住むつもりだが将来は区外に転出したい
- 4 近いうちに現在の区外に転出したいが、具体的な計画はない
- 5 近いうちに現在の区外に転出する予定である
- 6 わからない

（1）基本集計結果

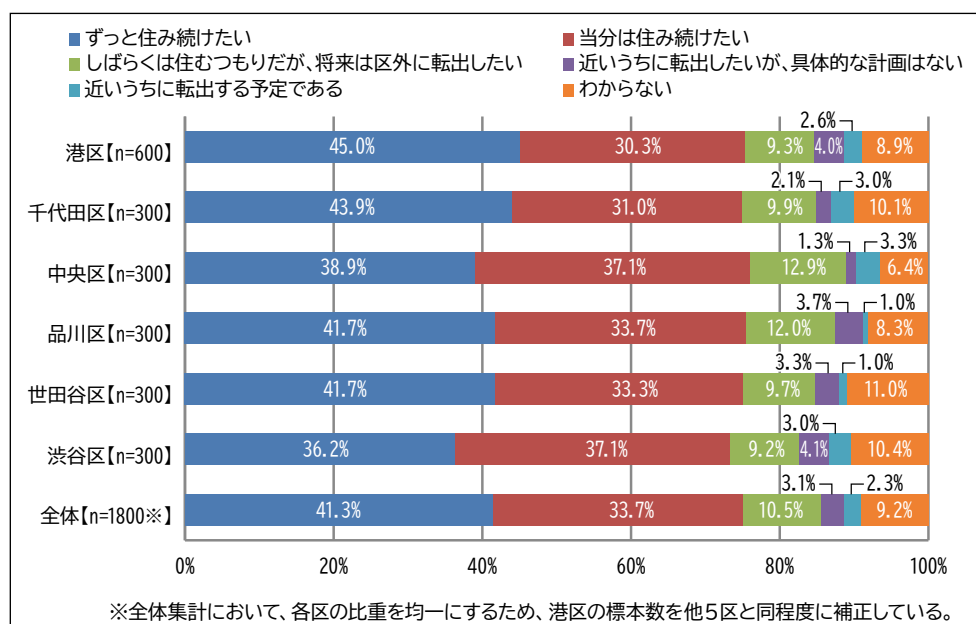
6区

港区は「ずっと区内に住み続けたい」が45.0%で、6区中最も高い。

■調査結果

港区は、「ずっと区内に住み続けたい」が45.0%で最も多く、次いで「当分は区内に住んでいたい」(30.3%)などが多くなっている。

図表2-28-1-1 転出の予定・希望



(2) クロス集計結果

ア 年齢別転出の予定・希望

港区

年齢が高いほど「ずっと住み続けたい」の回答割合が高くなる。

■調査結果

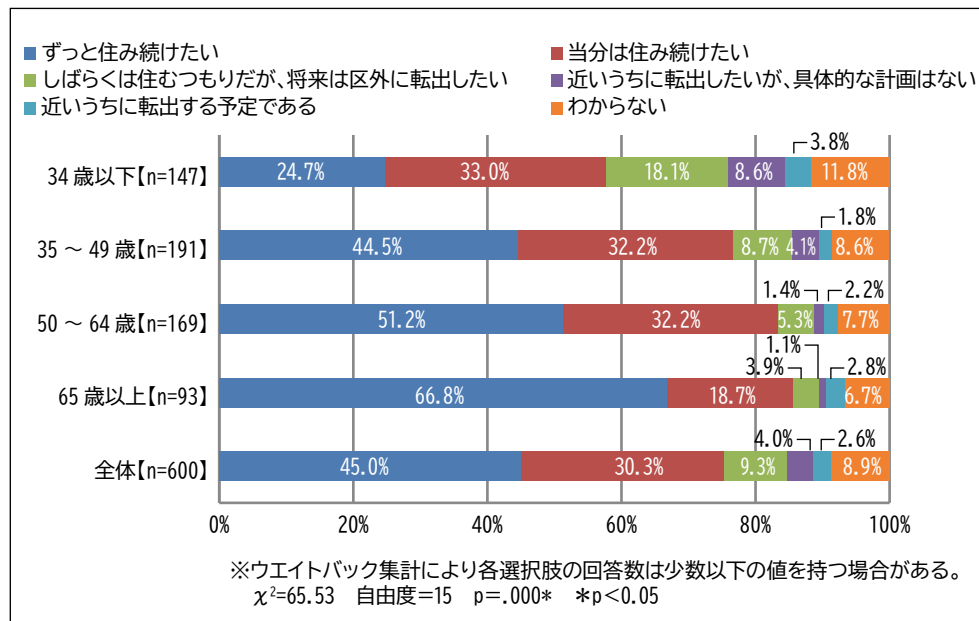
「34歳以下」は、「当分は住み続けたい」が33.0%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」(24.7%)、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」(18.1%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「ずっと住み続けたい」が44.5%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(32.2%)、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」(8.7%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「ずっと住み続けたい」が51.2%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(32.2%)、「わからない」(7.7%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「ずっと住み続けたい」が66.8%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(18.7%)、「わからない」(6.7%)などが多くなっている。

図表2-28-2-1 年齢別転出の予定・希望



イ 職業別転出の予定・希望

港区

「会社員・団体職員・公務員」は「ずっと住みたい」が相対的に低い。

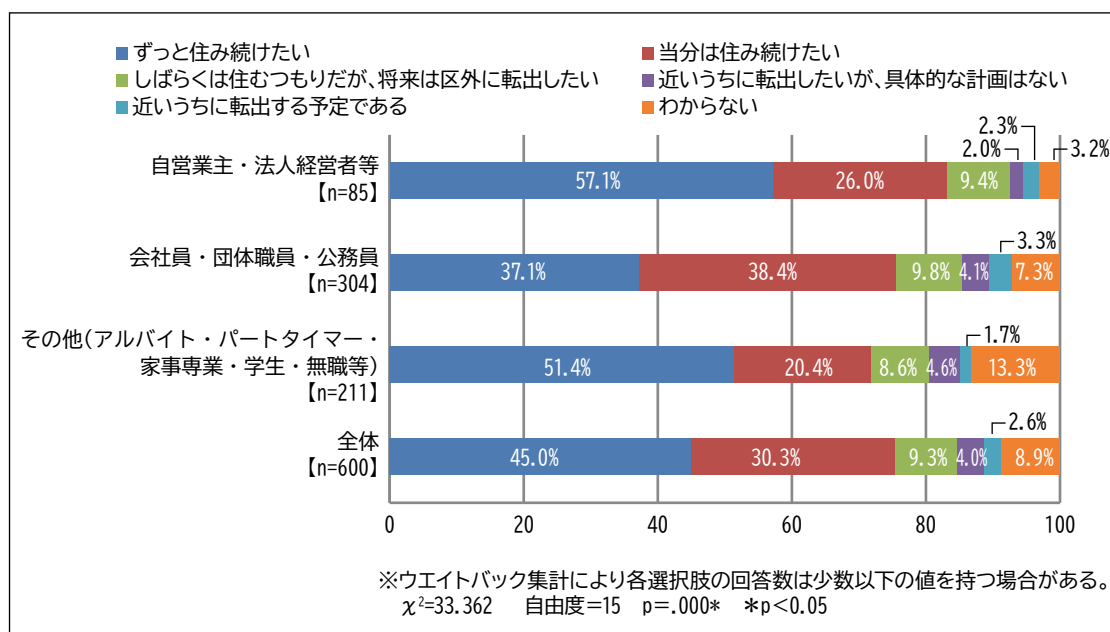
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「ずっと住みたい」が57.1%で最も多く、次いで「当分は住みたい」(26%)、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」(9.4%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「当分は住みたい」が38.4%で最も多く、次いで「ずっと住みたい」(37.1%)、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」(9.8%)などが多くなっている。

「その他(アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等)」は、「ずっと住みたい」が51.4%で最も多く、次いで「当分は住みたい」(20.4%)、「わからない」(13.3%)などが多くなっている。

図表2-28-2-2 職業別転出の予定・希望



ウ 居住期間別転出の予定・希望

港区

居住期間が長くなるほど、「ずっと住み続けたい」の回答割合が高くなる。

■調査結果

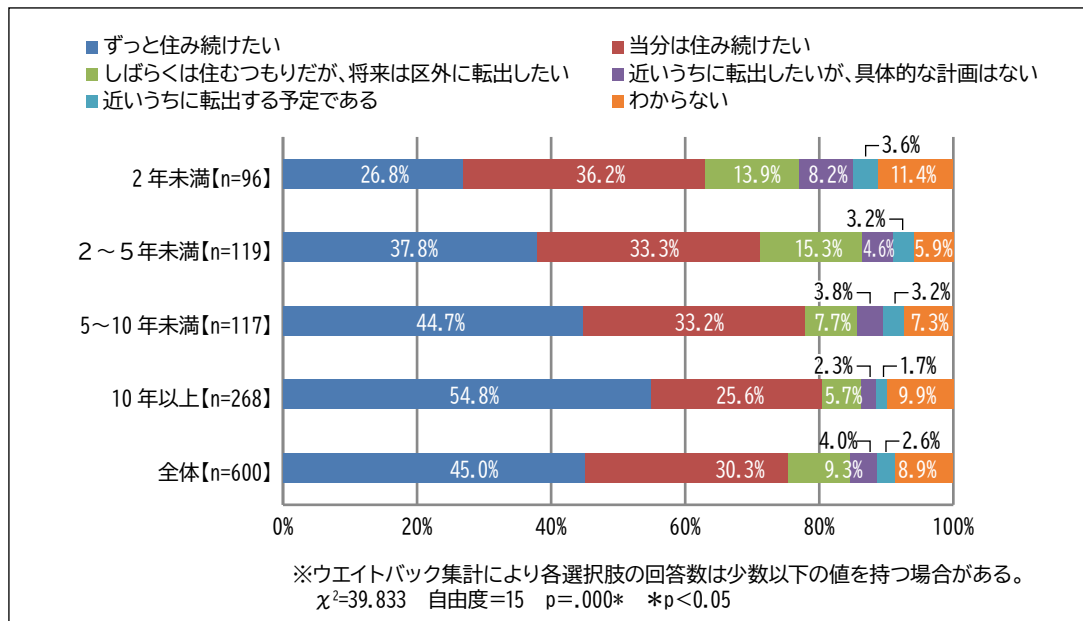
「2年未満」は、「当分は住み続けたい」が36.2%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」(26.8%)、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」(13.9%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「ずっと住み続けたい」が37.8%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(33.3%)、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」(15.3%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「ずっと住み続けたい」が44.7%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(33.2%)、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」(7.7%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「ずっと住み続けたい」が54.8%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(25.6%)、「わからない」(9.9%)などが多くなっている。

図表2-28-2-3 居住期間別転出の予定・希望



エ 既婚者の今後の希望子ども数別転出の予定・希望

港区

既婚者の希望子ども数が「0人」で「ずっと住み続けたい」と回答する割合が高い。

■調査結果

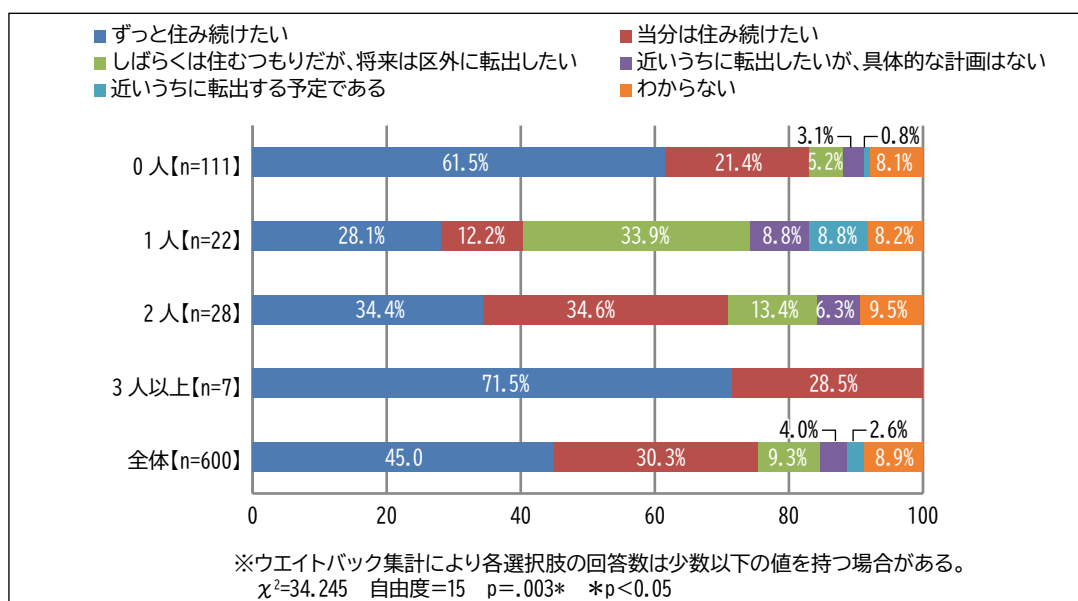
「0人」は、「ずっと住み続けたい」が61.5%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(21.4%)、「わからない」(8.1%)などが多くなっている。

「1人」は、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」が33.9%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」(28.1%)、「当分は住み続けたい」(12.2%)などが多くなっている。

「2人」は、「当分は住み続けたい」が36.4%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」(34.4%)、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」(13.4%)などが多くなっている。

「3人以上」は、「ずっと住み続けたい」が71.5%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」(28.5%)が多くなっている。

図表2-28-2-4 既婚者の希望子ども数別転出の予定・希望



オ 住宅の所有形態別転出の予定・希望

港区

「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」は住み続ける意向が低い傾向にある。

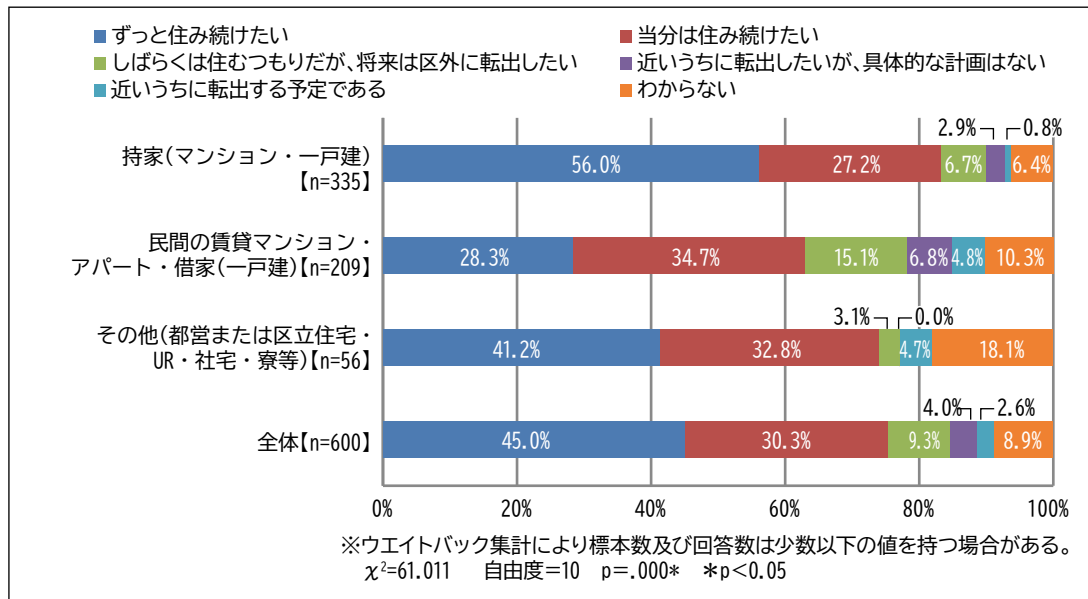
■調査結果

「持家（マンション・一戸建）」は、「ずっと住み続けたい」が56.0%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」（27.2%）、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」（6.7%）などが多くなっている。

「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」は、「当分は住み続けたい」が34.7%で最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」（28.3%）、「しばらくは住むつもりだが、将来は区外に転出したい」（15.1%）などが多くなっている。

「その他（都営または区立住宅・UR・社宅・寮等）」は、「ずっと住み続けたい」が41.2%で最も多く、次いで「当分は住み続けたい」（32.8%）、「わからない」（18.1%）などが多くなっている。

図表2-28-2-5 住宅の所有形態別転出の予定・希望



29 転出の原因（問17）

問17（問16で3、4、5と回答した場合）

転出を予定する理由（現在お住まいの区における不満）として当てはまるものをお答えください。
 （複数回答・最大5つまで）

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1 住宅価格・家賃 | 15 通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ） |
| 2 公共交通機関の利便性 | 16 子育て支援の充実 |
| 3 道路交通の利便性 | 17 教育環境の充実（幼稚園・小学校） |
| 4 防災面における安全性 | 18 教育環境の充実（中学校） |
| 5 治安 | 19 教育環境の充実（高等学校） |
| 6 まちのイメージ | 20 生涯学習の機会の充実 |
| 7 景観・街並み | 21 公園の充実 |
| 8 自然の豊かさ | 22 スポーツ施設の充実 |
| 9 飲食店の充実度 | 23 博物館・美術館など文化施設の充実 |
| 10 買い物のしにくさ | 24 医療機関の充実 |
| 11 環境に配慮したまちづくり | 25 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 |
| 12 地域コミュニティの活動 | 26 国際性の豊かさ |
| 13 友人・知人・親族が近くにいない | 27 その他 |
| 14 勤務先との近さ | |

（1）基本集計結果

6区

いずれの区でも「住宅価格・家賃」が1位で、港区は6区中1位である。港区の「買い物のしにくさ」は19.8%で中央区に次いで高い。

■調査結果

港区は、「住宅価格・家賃」が58.3%で最も多く、次いで「自然の豊かさ」(20.5%)、「買い物のしにくさ」(19.8%)などが多くなっている。

図表2-29-1-1 転出の原因

	港区 【n=95】	千代田区 【n=45】	中央区 【n=53】	品川区 【n=49】	世田谷区 【n=42】	渋谷区 【n=49】	全体 【n=285 ※】
第1位	住宅価格・家賃 58.3%	住宅価格・家賃 34.5%	住宅価格・家賃 57.6%	住宅価格・家賃 46.9%	住宅価格・家賃 50.0%	住宅価格・家賃 52.9%	住宅価格・家賃 50.3%
第2位	自然の豊かさ 20.5%	高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 16.5%	買い物のしにくさ 25.4%	自然の豊かさ 16.3%	自然の豊かさ 14.3%	自然の豊かさ 20.7%	自然の豊かさ 17.8%
第3位	買い物のしにくさ 19.8%	道路交通の利便性 10.5%	自然の豊かさ 25.1%	友人・知人・親族が近くにいる 14.3%	その他 14.3%	防災面における安全性 16.4%	買い物のしにくさ 13.3%
第4位	治安 14.9%	まちのイメージ 10.4%	その他 17.9%	公共交通機関の利便性 12.2%	公共交通機関の利便性 11.9%	治安 10.2%	その他 11.8%
第5位	その他 12.7%	博物館・美術館など文化施設の充実 9.4%	景観・街並み 15.7%	防災面における安全性 12.2%	買い物のしにくさ 9.5%	景観・街並み 10.2%	防災面における安全性 9.8%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別転出の原因

港区

年齢が高いほど「住宅価格・家賃」の回答割合が低くなる。また、年齢が高いほど「自然の豊かさ」の回答割合が高くなる。

■調査結果

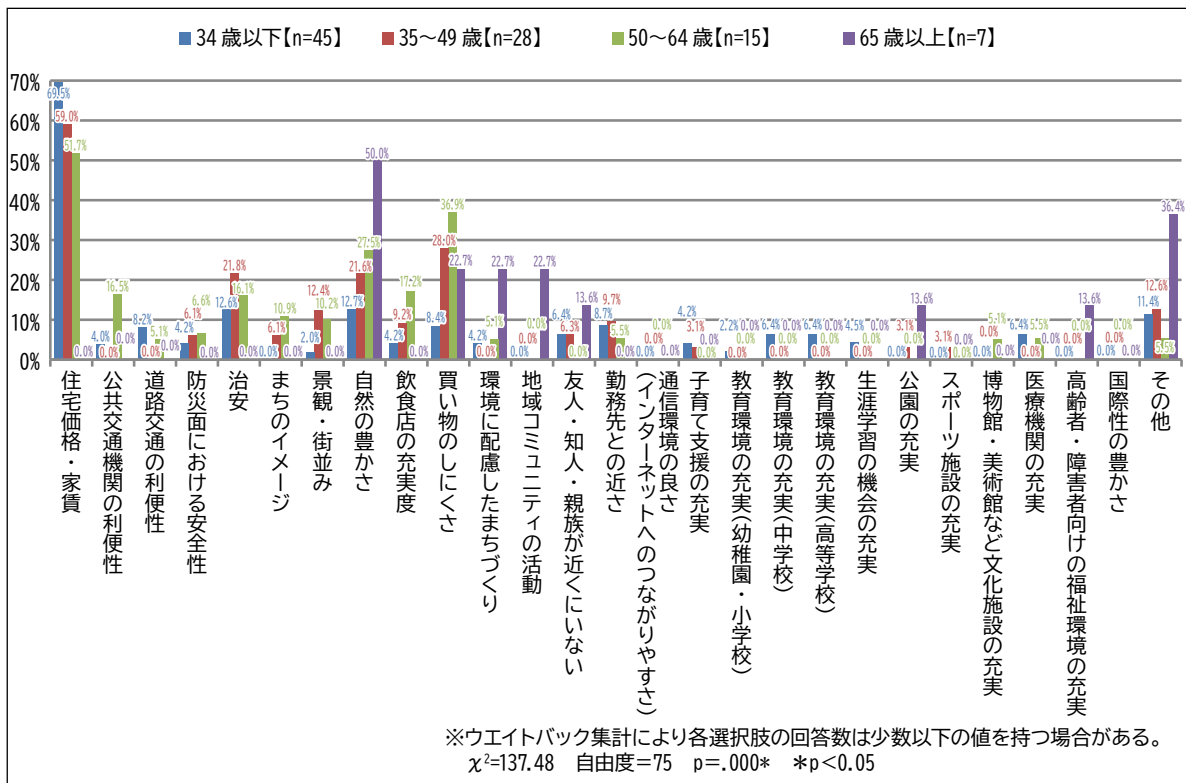
「34歳以下」は、「住宅価格・家賃」が69.5%で最も多く、次いで「自然の豊かさ」(12.7%)、「治安」(12.6%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「住宅価格・家賃」が59.0%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(28.0%)、「治安」(21.8%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「住宅価格・家賃」が51.7%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(36.9%)、「自然の豊かさ」(27.5%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「自然の豊かさ」が50.0%で最も多く、次いで「その他」(36.4%)、「買い物のしにくさ」(22.7%)などが多くなっている。

図表2-29-2-1 年齢別転出の原因



イ 職業別転出の原因

港区

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「買い物のしやすさ」が相対的に高い。また、職業別の属性によらず「住宅価格・家賃」の回答割合が最も高い。

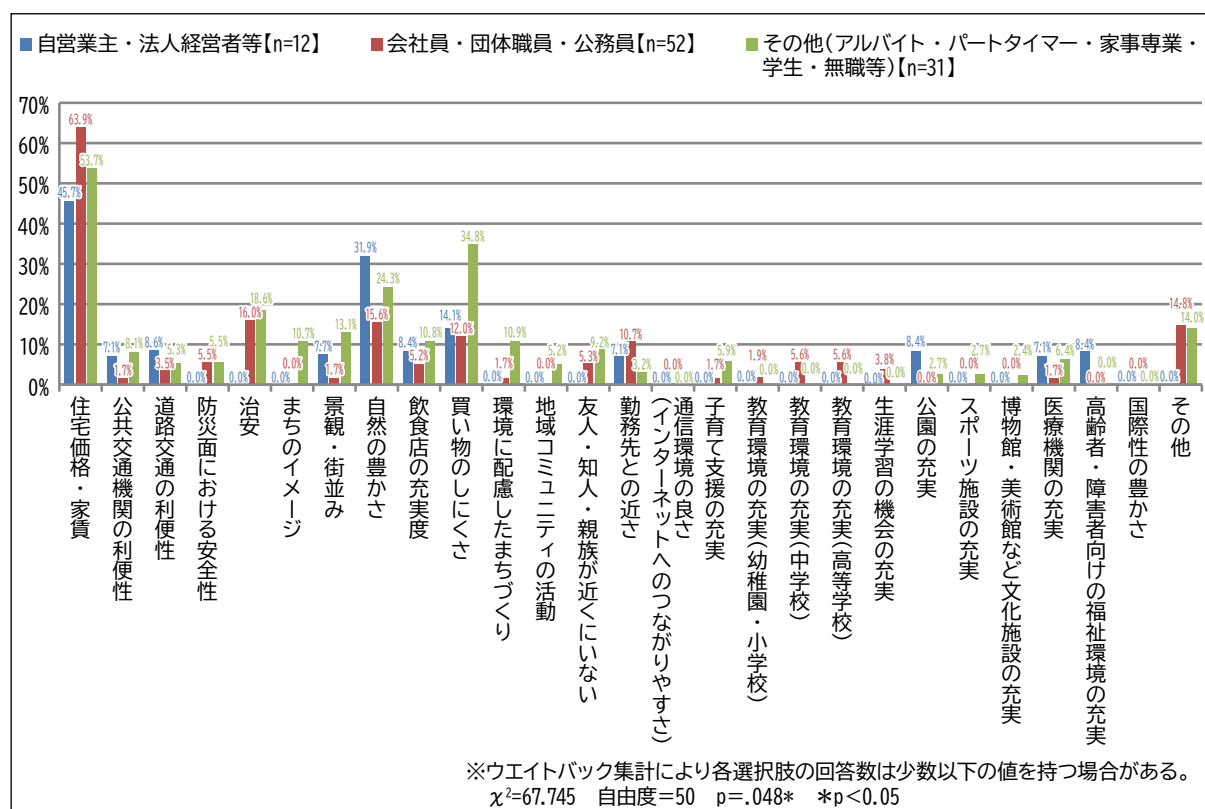
調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「住宅価格・家賃」が45.7%で最も多く、次いで「自然の豊かさ」(31.9%)、「買い物のしにくさ」(14.1%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「住宅価格・家賃」が63.9%で最も多く、次いで「治安」(16.0%)、「自然の豊かさ」(15.6%)などが多くなっている。

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「住宅価格・家賃」が53.7%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(34.8%)、「自然の豊かさ」(24.3%)などが多くなっている。

図表2-29-2-2 職業別転出の原因



ウ 居住期間別転出の原因【参考値】

港区

居住期間が長いほど「治安」の回答割合が高い。

■ 調査結果

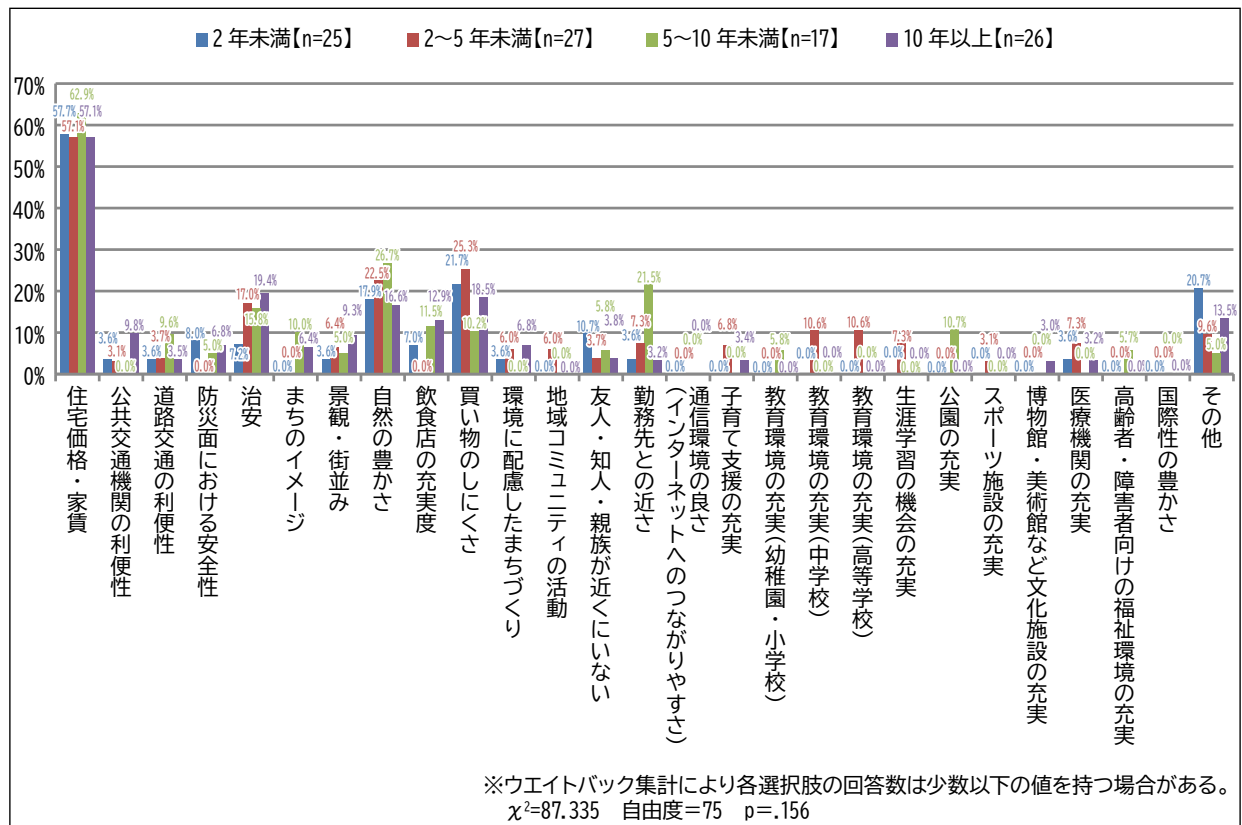
「2年未満」は、「住宅価格・家賃」が57.7%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(21.7%)、「その他」(20.7%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「住宅価格・家賃」が57.1%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」(25.3%)、「自然の豊かさ」(22.5%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「住宅価格・家賃」が62.9%で最も多く、次いで「自然の豊かさ」(26.7%)、「勤務先との近さ」(21.5%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「住宅価格・家賃」が57.1%で最も多く、次いで「治安」(19.4%)、「買い物のしにくさ」(18.5%)などが多くなっている。

図表2-29-2-3 居住期間別転出の原因【参考値】



エ 住宅の所有形態別転出の原因【参考値】

港区

「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」の「住宅価格・家賃」の回答割合が高い。

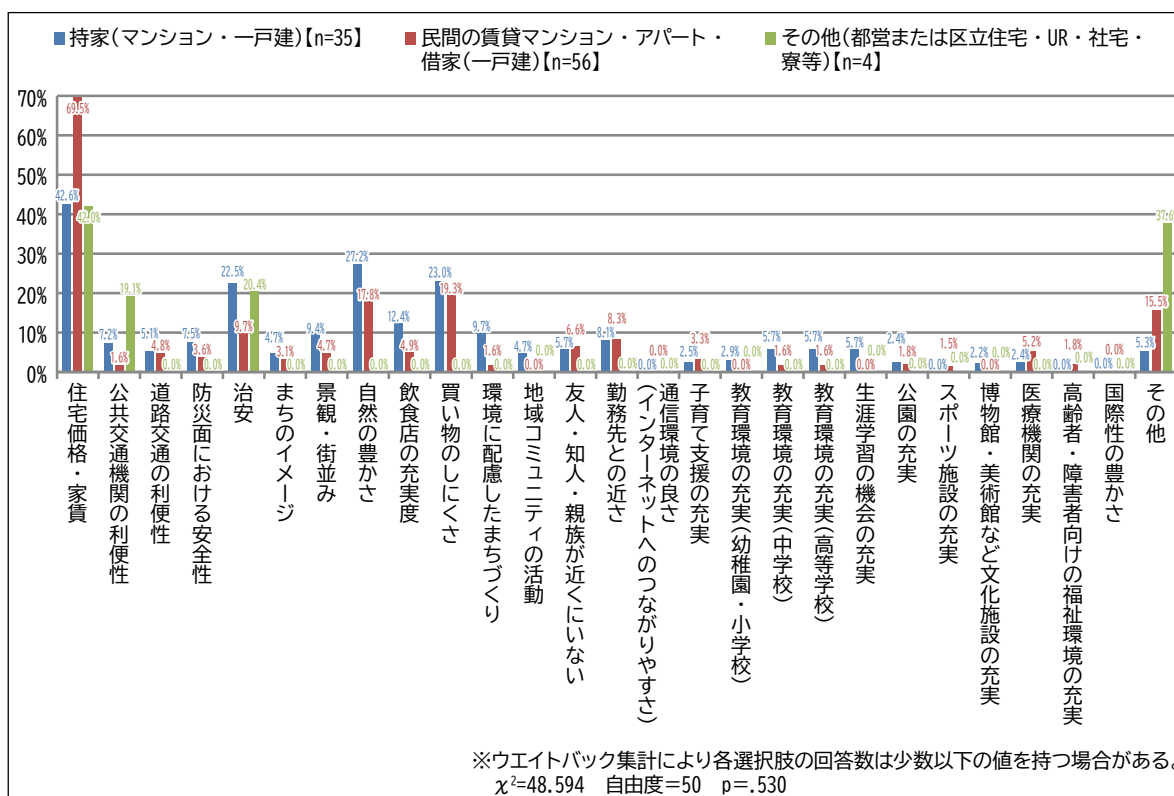
■調査結果

「持家（マンション・一戸建）」は、「住宅価格・家賃」が42.6%で最も多く、次いで「自然の豊かさ」（27.2%）、「買い物のしにくさ」（23%）などが多くなっている。

「民間の賃貸マンション・アパート・借家（一戸建）」は、「住宅価格・家賃」が69.5%で最も多く、次いで「買い物のしにくさ」（19.3%）、「自然の豊かさ」（17.8%）などが多くなっている。

「その他（都営または区立住宅・UR・社宅・寮等）」は、「住宅価格・家賃」が42.0%で最も多く、次いで「その他」（37.6%）、「治安」（20.4%）などが多くなっている。

図表2-29-2-4 住宅の所有形態別転出の原因【参考値】



30 転出のきっかけ(問18)

問18 (問16で3、4、5と回答した場合)

予定する転出のきっかけとしてご自身やご家族の状況に当てはまるものをお答えください。(複数回答)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 就職 | 12 出産 |
| 2 転勤 | 13 家族や親族から独立するため |
| 3 転職 | 14 親や親族の介護 |
| 4 退職 | 15 防災上の理由 |
| 5 進学・卒業 | 16 住まいの賃貸契約の更新が近かった |
| 6 住宅の購入 | 17 家計状況の好転 |
| 7 広い家への住み替え | 18 家計状況の悪化 |
| 8 建て替え・改築 | 19 通院 |
| 9 結婚 | 20 健康上の理由 |
| 10 離婚 | 21 特に理由はない |
| 11 同居・同棲 | 22 その他 |

(1) 基本集計結果

6区

いずれの区でも「広い家への住み替え」、「住宅の購入」など住宅関係の項目が上位となっている。

■調査結果

港区は、「広い家への住み替え」が23.0%で最も多く、次いで「転職」(21.6%)、「特に理由はない」(16.2%)などが多くなっている。

図表2-30-1-1 転出のきっかけ

	港区 【n=95】	千代田区 【n=45】	中央区 【n=53】	品川区 【n=49】	世田谷区 【n=42】	渋谷区 【n=49】	全体 【n=285 ※】
第1位	広い家への住み替え 23.0%	特に理由はない 24.2%	広い家への住み替え 30.8%	広い家への住み替え 20.4%	住宅価格・家賃 28.6%	広い家への住み替え 28.7%	広い家への住み替え 23.7%
第2位	転職 21.6%	就職 20.1%	転職 29.0%	家計状況の悪化 18.4%	広い家への住み替え 26.2%	特に理由はない 27.0%	転職 18.1%
第3位	特に理由はない 16.2%	退職 16.7%	転勤 23.0%	転勤 16.3%	就職 21.4%	転職 14.0%	住宅の購入 16.4%
第4位	住宅の購入 14.2%	住宅の購入 13.6%	住宅の購入 18.9%	特に理由はない 16.3%	転職 19.0%	住宅の購入 12.0%	特に理由はない 16.4%
第5位	進学・卒業 11.6%	転勤 13.2%	結婚 18.5%	転職 14.3%	住まいの賃貸契約の更新が近かった 19.0%	家計状況の悪化 12.0%	転勤 15.2%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 居住期間別転出のきっかけ

港区

「2年未満」は、「就職」、「転勤」、「転職」の回答割合が高い。また、「2～5年未満」は「出産」、「広い家への住み替え」、「住居の購入」の回答割合が高い。

■調査結果

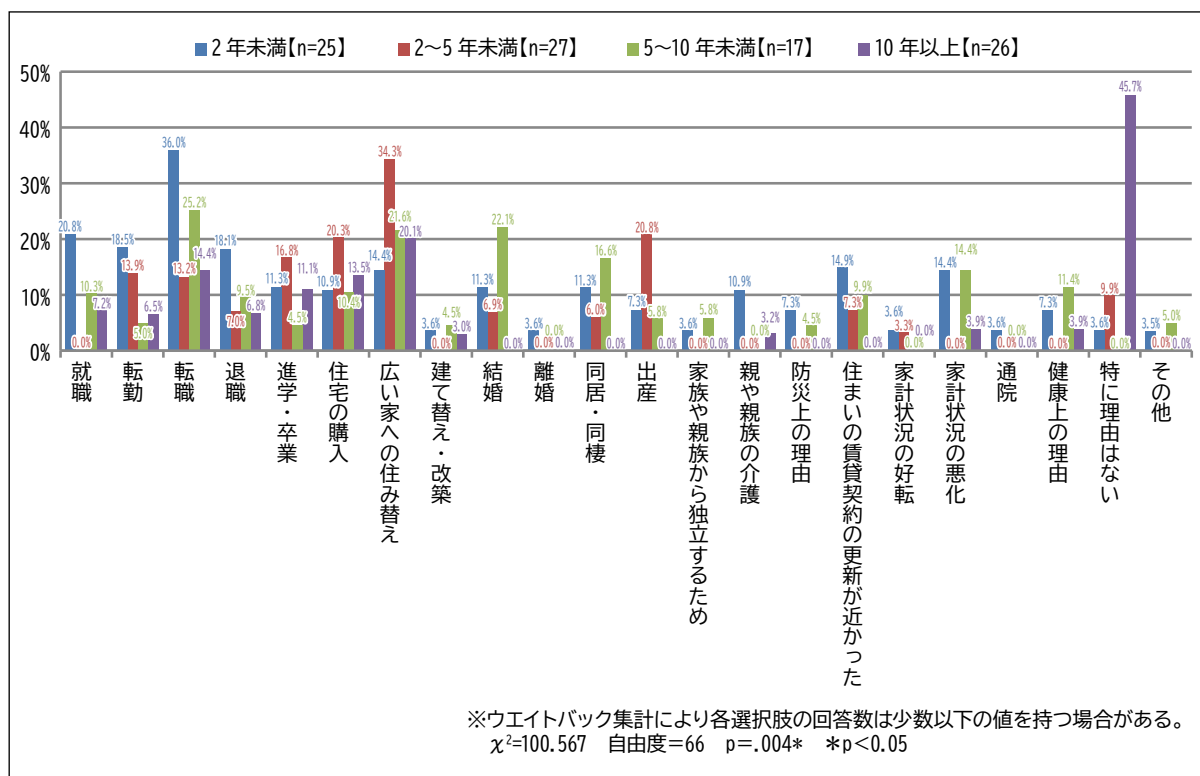
「2年未満」は、「転職」が36.0%で最も多く、次いで「就職」(20.8%)、「転勤」(18.5%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「広い家への住み替え」が34.3%で最も多く、次いで「出産」(20.8%)、「住宅の購入」(20.3%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「転職」が25.2%で最も多く、次いで「結婚」(22.1%)、「広い家への住み替え」(21.6%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「特に理由はない」が45.7%で最も多く、次いで「広い家への住み替え」(20.1%)、「転職」(14.4%)などが多くなっている。

図表2-30-2-1 居住期間別転出のきっかけ



31 転出のきっかけ（最重要）（問19）

問19（問16で3、4、5と回答した場合）

予定する転出のきっかけとしてご自身やご家族の状況に当てはまるものうち、最も当てはまるもの

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 就職 | 12 出産 |
| 2 転勤 | 13 家族や親族から独立するため |
| 3 転職 | 14 親や親族の介護 |
| 4 退職 | 15 防災上の理由 |
| 5 進学・卒業 | 16 住まいの賃貸契約の更新が近かった |
| 6 住宅の購入 | 17 家計状況の好転 |
| 7 広い家への住み替え | 18 家計状況の悪化 |
| 8 建て替え・改築 | 19 通院 |
| 9 結婚 | 20 健康上の理由 |
| 10 離婚 | 21 特に理由はない |
| 11 同居・同棲 | 22 その他 |

(1) 基本集計結果

6区

港区では、「転出のきっかけ（問19）」と比較し、「転職」が上位となることから、住宅関係の項目は副次的なものであることが分かる。

■調査結果

港区は、「特に理由はない」が16.2%で最も多く、次いで「転職」（15.9%）、「広い家への住み替え」（12.4%）などが多くなっている。

図表2-31-1-1 転出のきっかけ（最重要）

	港区 【n=95】	千代田区 【n=45】	中央区 【n=53】	品川区 【n=49】	世田谷区 【n=42】	渋谷区 【n=49】	全体 【n=285 ※】
第1位	特に理由はない 16.2%	特に理由はない 24.2%	結婚 12.9%	特に理由はない 16.3%	住宅の購入 14.3%	特に理由はない 27.0%	特に理由はない 16.4%
第2位	転職 15.9%	就職 13.0%	転勤 9.3%	広い家への住み替え 12.2%	広い家への住み替え 14.3%	広い家への住み替え 20.5%	広い家への住み替え 11.7%
第3位	広い家への住み替え 12.4%	転勤 11.3%	転勤 8.0%	転勤 10.2%	結婚 14.3%	住宅の購入 9.9%	住宅の購入 9.3%
第4位	住宅の購入 10.4%	退職 10.2%	特に理由はない 7.8%	転職 10.2%	就職 11.9%	就職 8.2%	転職 8.8%
第5位	転勤 7.8%	住宅の購入 6.3%	住宅の購入 7.6%	住宅の購入 / 家計状況の悪化 8.2%	退職 9.5%	転勤 / 転職 6.1%	転勤 8.3%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別転出のきっかけ（最重要）

港区

「34歳以下」は、「就職」、「転職」、「50～64歳」は、「住宅の購入」、「広い家への住み替え」、「65歳以上」は、「健康上の理由」、「同居・同棲」、「特に理由はない」の回答割合が突出して高い。

■調査結果

「34歳以下」は、「転職」が24.3%で最も多く、次いで「住宅の購入」（12.7%）、「就職」（11.7%）などが多くなっている。

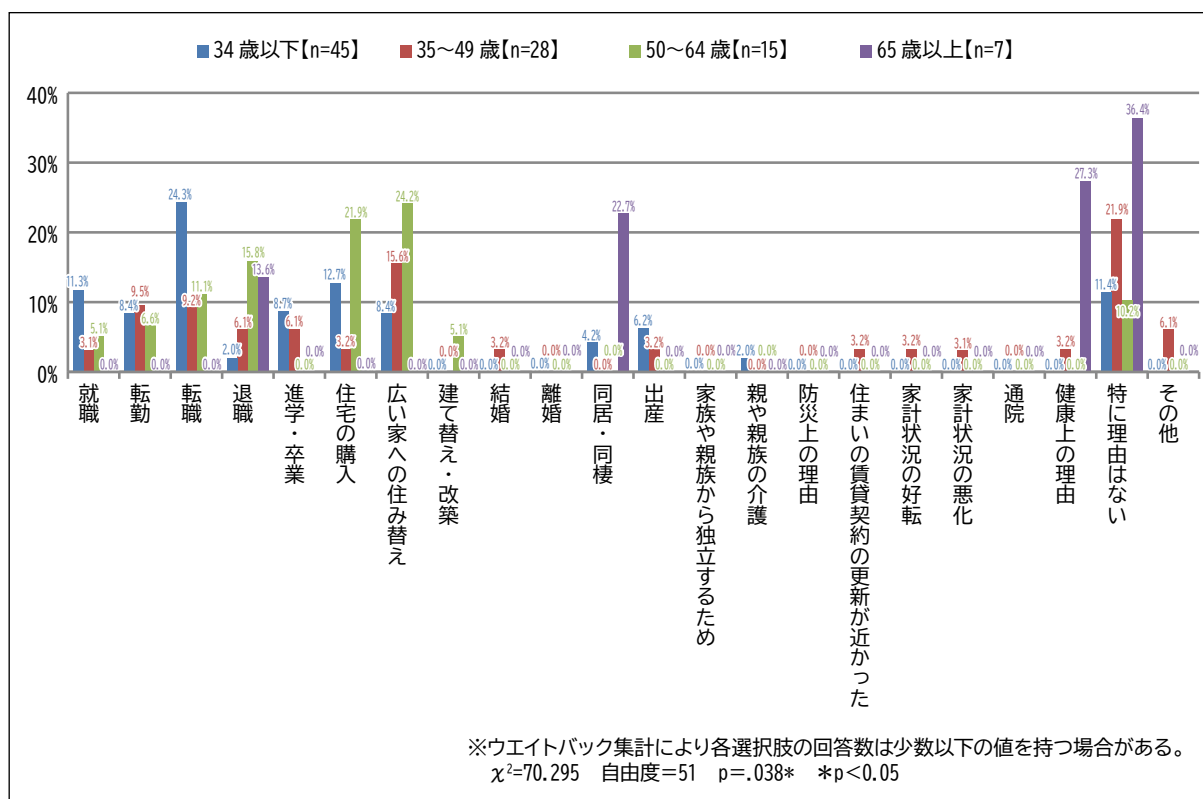
「35～49歳」は、「特に理由はない」が21.9%で最も多く、次いで「広い家への住み替え」（15.6%）、「転勤」（9.5%）などが多くなっている。

「50～64歳」は、「広い家への住み替え」が24.2%で最も多く、次いで「住宅の購入」（21.9%）、「退職」（15.8%）などが多くなっている。

「65歳以上」は、「特に理由はない」が36.4%で最も多く、次いで「健康上の理由」（27.3%）、「同居・

同棲」(22.7%)などが多くなっている。

図表2-31-2-1 年齢別転出のきっかけ（最重要）



イ 職業別転出のきっかけ（最重要）

港区

「自営業主・法人経営者等」は、「広い家への住み替え」の回答割合が突出して高い。また、「会社員・団体職員・公務員」は、「転職」、「転勤」の回答割合が高い。

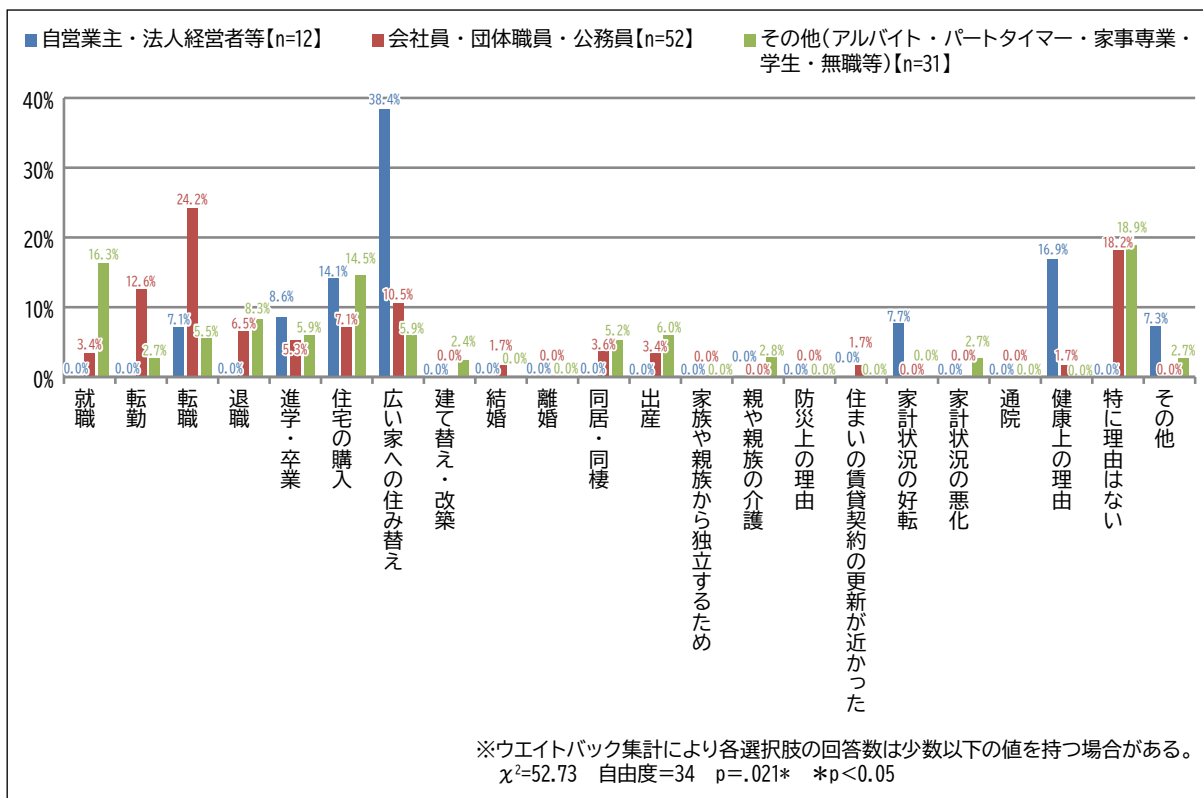
■調査結果

「自営業主・法人経営者等」は、「広い家への住み替え」が38.4%で最も多く、次いで「健康上の理由」(16.9%)、「住宅の購入」(14.1%)などが多くなっている。

「会社員・団体職員・公務員」は、「転職」が24.2%で最も多く、次いで「特に理由はない」(18.2%)、「転勤」(12.6%)などが多くなっている。

「その他（アルバイト・パートタイマー・家事専業・学生・無職等）」は、「特に理由はない」が18.9%で最も多く、次いで「就職」(16.3%)、「住宅の購入」(14.5%)などが多くなっている。

図表2-31-2-2 職業別転出のきっかけ（最重要）



ウ 居住期間別転出のきっかけ（最重要）

港区

「10年以上」は、「特に理由はない」の回答割合が突出して高い。

■調査結果

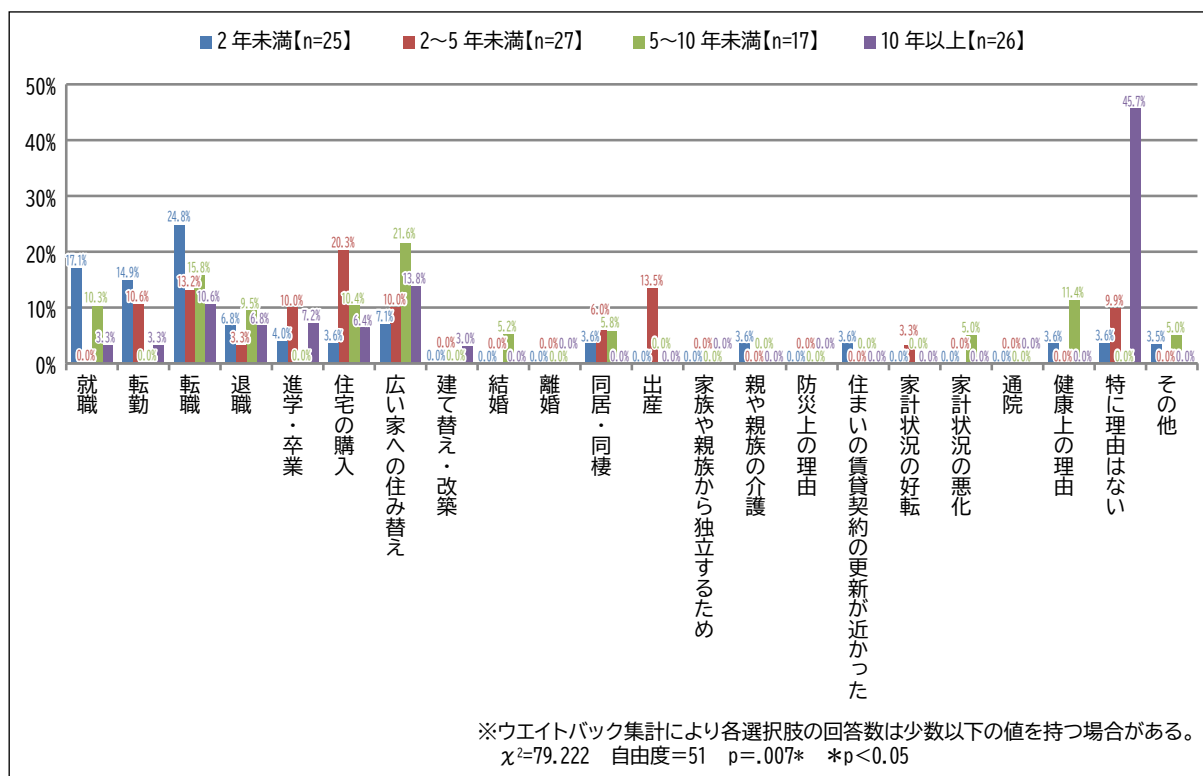
「2年未満」は、「転職」が24.8%で最も多く、次いで「就職」(17.1%)、「転勤」(14.9%)などが多い。

「2～5年未満」は、「住宅の購入」が20.3%で最も多く、次いで「出産」(13.5%)、「転職」(13.2%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「広い家への住み替え」が21.6%で最も多く、次いで「転職」（15.8%）、「健康上の理由」（11.4%）などが多くなっている。

「10年以上」は、「特に理由はない」が45.7%で最も多く、次いで「広い家への住み替え」（13.8%）、「転職」（10.6%）などが多くなっている。

図表2-31-2-3 居住期間別転出のきっかけ（最重要）



32 転出先として想定する場所（問20）

問20（問16で3、4、5と回答した場合）

転出先として考えている場所をお答えください。（複数回答可）

1 千代田区	19 板橋区	37 神奈川県	55 島根県
2 中央区	20 練馬区	38 新潟県	56 岡山県
3 港区	21 足立区	39 富山県	57 広島県
4 新宿区	22 葛飾区	40 石川県	58 山口県
5 文京区	23 江戸川区	41 福井県	59 徳島県
6 台東区	24 23区以外の都内	42 山梨県	60 香川県
7 墨田区	25 北海道	43 長野県	61 愛媛県
8 江東区	26 青森県	44 岐阜県	62 高知県
9 品川区	27 岩手県	45 静岡県	63 福岡県
10 目黒区	28 宮城県	46 愛知県	64 佐賀県
11 大田区	29 秋田県	47 三重県	65 長崎県
12 世田谷区	30 山形県	48 滋賀県	66 熊本県
13 渋谷区	31 福島県	49 京都府	67 大分県
14 中野区	32 茨城県	50 大阪府	68 宮崎県
15 杉並区	33 栃木県	51 兵庫県	69 鹿児島県
16 豊島区	34 群馬県	52 奈良県	70 沖縄県
17 北区	35 埼玉県	53 和歌山県	71 海外
18 荒川区	36 千葉県	54 鳥取県	72 分からない

（1）基本集計結果

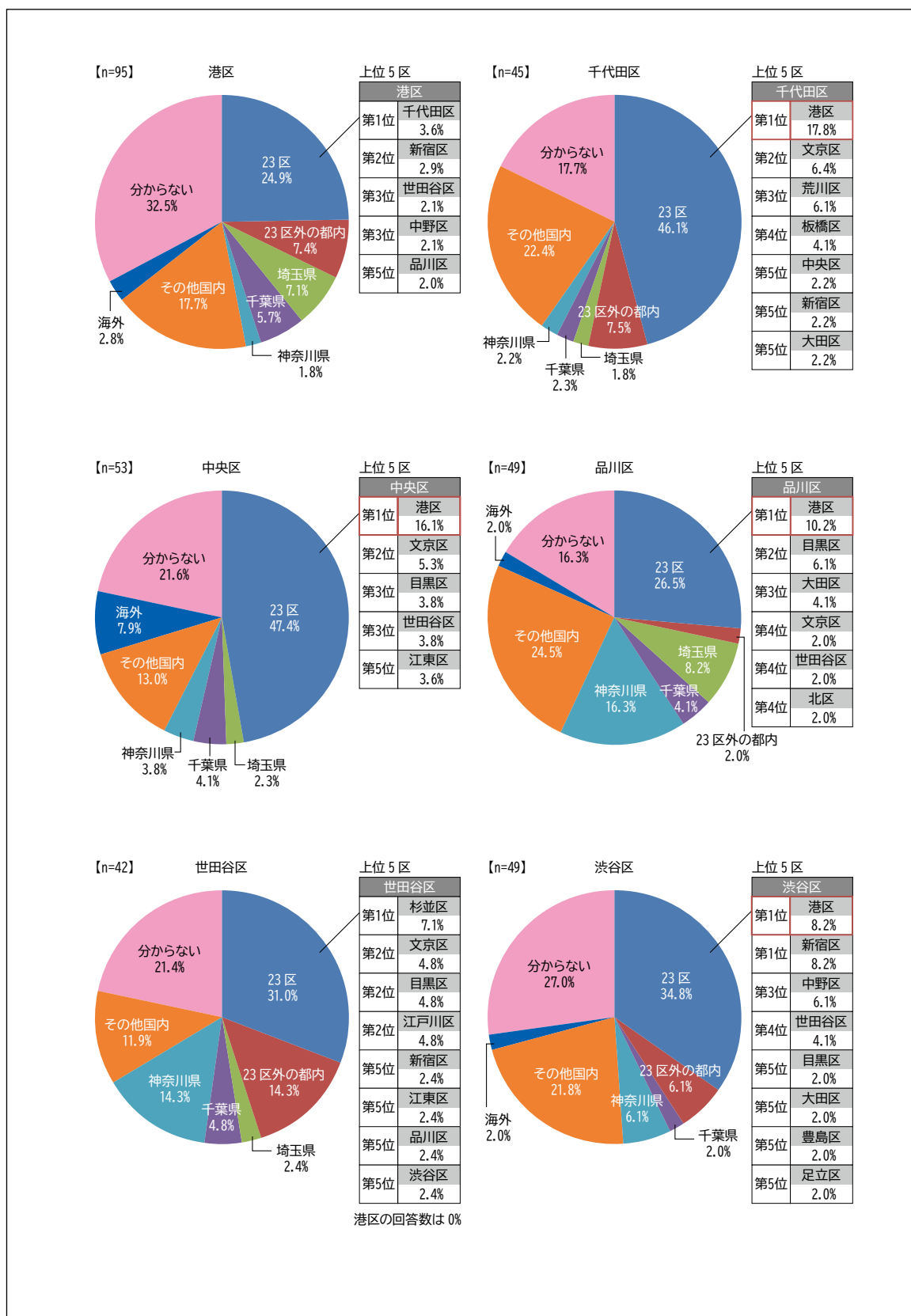
6区

港区以外の5区において「港区」と回答する割合が高い。

■調査結果

港区は、「分からない」が32.5%で最も多く、次いで「23区以外の都内」（7.4%）、「埼玉県」（7.1%）などが多くなっている。

図表2-32-1-1 転出先として想定する場所



33 引越し先として選定する理由（問21）

問21（問16で3、4、5と回答した場合。また問20で72を回答した場合を除く。） 転出先として考えている場所を選んだ理由をお答えください。（複数回答可）	
1 住宅価格・家賃	15 通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ）
2 公共交通機関の利便性	16 子育て支援の充実
3 道路交通の利便性	17 教育環境の充実（幼稚園・小学校）
4 防災面における安全性	18 教育環境の充実（中学校）
5 治安	19 教育環境の充実（高等学校）
6 まちのイメージ	20 生涯学習の機会の充実
7 景観・街並み	21 公園の充実
8 自然の豊かさ	22 スポーツ施設の充実
9 飲食店の充実度	23 博物館・美術館など文化施設の充実
10 買い物のしやすさ	24 医療機関の充実
11 環境に配慮したまちづくり	25 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
12 地域コミュニティの活動	26 国際性の豊かさ
13 友人・知人・親族が近くにいる	27 その他
14 勤務先との近さ	

（1）基本集計結果

6区

いずれの区民も引越し先を選ぶ理由としては「住宅価格・家賃」が上位で、港区は6区中2番目に高い。港区は「公共交通機関の利便性」が27.5%で、こちらも6区中2番目である。

■調査結果

港区は、「住宅価格・家賃」が43.0%で最も多く、次いで「公共交通機関の利便性」（27.5%）、「まちのイメージ」（26.1%）などが多くなっている。

図表2-33-1-1 引越し先として選定する理由

	港区 【n=64】	千代田区 【n=37】	中央区 【n=41】	品川区 【n=41】	世田谷区 【n=33】	渋谷区 【n=36】	全体 【n=220 ※】
第1位	住宅価格・家賃 43.0%	景観・街並み 23.7%	まちのイメージ 34.8%	住宅価格・家賃 29.3%	住宅価格・家賃 48.5%	まちのイメージ 30.8%	住宅価格・家賃 32.4%
第2位	公共交通機関の利便性 27.5%	住宅価格・家賃 19.6%	景観・街並み 30.1%	友人・知人・親族が近くにいる 29.3%	公共交通機関の利便性 30.3%	住宅価格・家賃 30.4%	まちのイメージ 23.2%
第3位	まちのイメージ 26.1%	高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 17.4%	自然の豊かさ 30.0%	自然の豊かさ 24.4%	自然の豊かさ 18.2%	自然の豊かさ 25.2%	自然の豊かさ 22.2%

第4位	友人・知人・親族が近くにいる	まちのイメージ	住宅価格・家賃	景観・街並み	道路交通の利便性	買い物のしやすさ	公共交通機関の利便性
	23.8%	17.2%	27.5%	19.5%	15.2%	25.2%	20.9%
第5位	自然の豊かさ	買い物のしやすさ	公共交通機関の利便性	治安	まちのイメージ / 買い物のしやすさ	景観・街並み	景観・街並み
	21.0%	17.1%	24.9%	17.1%	15.2%	22.4%	20.1%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 転出先として想定する場所別引越し先として選定する理由

6区

「港区」を転出先として考える人は、「まちのイメージ」、「景観・街並み」、「道路交通の利便性」、「高齢者・障害者向けの福祉環境の充実」等の回答が相対的に高く、「住宅価格・家賃」、「自然の豊かさ」、「防災面における安全性」、「治安」が相対的に低い。

■調査結果

ここでは、6区を合計した上、「転出先として想定する場所（問20）」別にクロス集計した結果を示す。

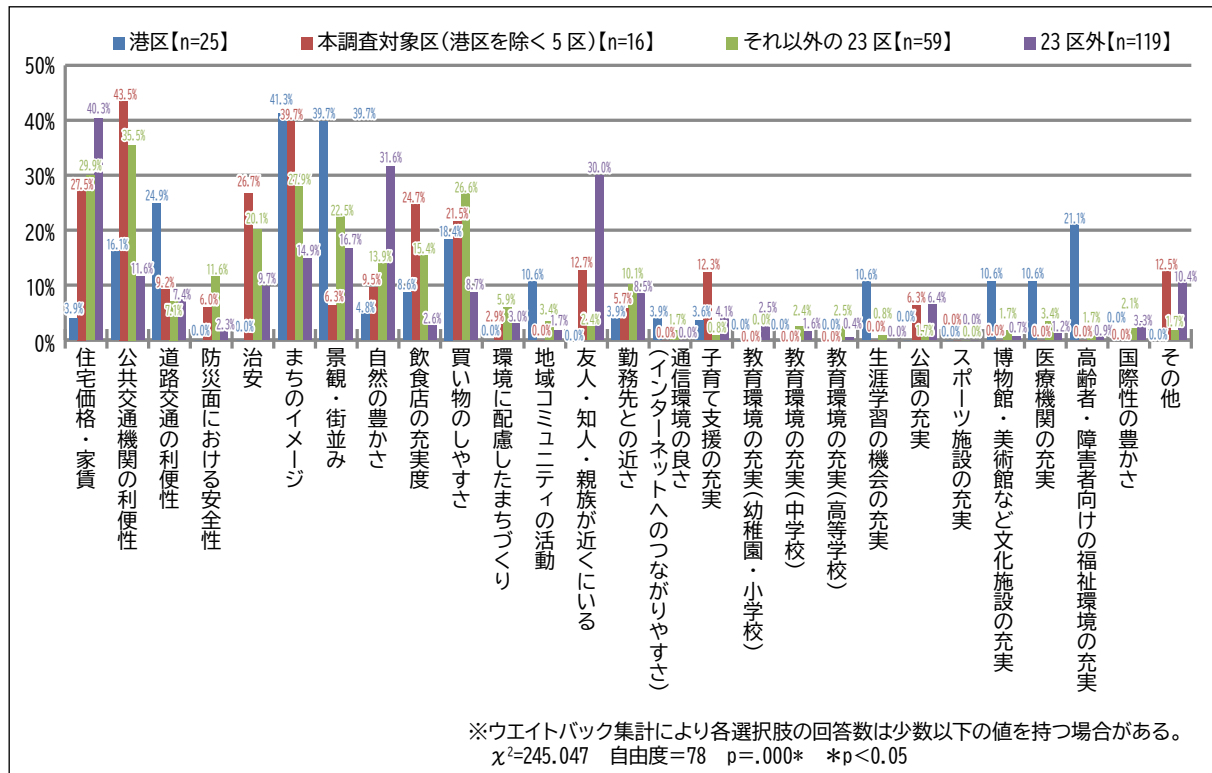
「港区」は、「まちのイメージ」が41.3%で最も多く、次いで「景観・街並み」（39.7%）、「道路交通の利便性」（24.9%）などが多くなっている。

「本調査対象区（港区を除く5区）」は、「公共交通機関の利便性」が43.5%で最も多く、次いで「まちのイメージ」（39.7%）、「住宅価格・家賃」（27.5%）などが多くなっている。

「それ以外の23区」は、「公共交通機関の利便性」が35.5%で最も多く、次いで「住宅価格・家賃」（29.9%）、「まちのイメージ」（27.9%）などが多くなっている。

「23区外」は、「住宅価格・家賃」が40.3%で最も多く、次いで「自然の豊かさ」（31.6%）、「友人・知人・親族が近くにいる」（30.0%）などが多くなっている。

図表2-33-2-1 転出先として想定する場所別引越し先として選定する理由



34 転出を希望しない理由（問22）

問22（問16で1又は2と回答した場合）

現在お住まいの区に住み続ける理由としてあてはまるものをお答えください。（複数回答・最大5つまで）

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1 住宅価格・家賃 | 15 通信環境の良さ（インターネットへのつながりやすさ） |
| 2 公共交通機関の利便性 | 16 子育て支援の充実 |
| 3 道路交通の利便性 | 17 教育環境の充実（幼稚園・小学校） |
| 4 防災面における安全性 | 18 教育環境の充実（中学校） |
| 5 治安 | 19 教育環境の充実（高等学校） |
| 6 まちのイメージ | 20 生涯学習の機会の充実 |
| 7 景観・街並み | 21 公園の充実 |
| 8 自然の豊かさ | 22 スポーツ施設の充実 |
| 9 飲食店の充実度 | 23 博物館・美術館など文化施設の充実 |
| 10 買い物のしやすさ | 24 医療機関の充実 |
| 11 環境に配慮したまちづくり | 25 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実 |
| 12 地域コミュニティの活動 | 26 国際性の豊かさ |
| 13 友人・知人・親族が近くにいる | 27 その他 |
| 14 勤務先との近さ | |

（1）基本集計結果

6区

いずれの区も引越しを希望しない理由は「公共交通機関の利便性」が1位で、港区は世田谷区に次いで低い。港区は「まちのイメージ」が相対的に高く、「治安」、「買い物のしやすさ」は相対的に低い。

■調査結果

港区は、「公共交通機関の利便性」が63.4%で最も多く、次いで「まちのイメージ」（32.4%）、「治安」（31.7%）などが多くなっている。

図表2-34-1-1 転出を希望しない理由

	港区 【n=452】	千代田区 【n=225】	中央区 【n=228】	品川区 【n=226】	世田谷区 【n=225】	渋谷区 【n=220】	全体 【n=1,350※】
第1位	公共交通機関の利便性 63.4%	公共交通機関の利便性 64.4%	公共交通機関の利便性 73.4%	公共交通機関の利便性 76.5%	公共交通機関の利便性 61.8%	公共交通機関の利便性 77.3%	公共交通機関の利便性 69.4%
第2位	まちのイメージ 32.4%	治安 40.0%	治安 46.7%	買い物のしやすさ 46.9%	買い物のしやすさ 52.4%	買い物のしやすさ 42.0%	治安 38.4%
第3位	治安 31.7%	道路交通の利便性 26.7%	買い物のしやすさ 35.3%	治安 33.6%	治安 48.4%	道路交通の利便性 31.5%	買い物のしやすさ 35.8%

第4位	買い物のしやすさ	まちのイメージ	まちのイメージ	まちのイメージ	まちのイメージ	治安	まちのイメージ
	22.7%	21.8%	32.1%	25.2%	32.4%	29.9%	28.8%
第5位	道路交通の利便性	勤務先との近さ	道路交通の利便性	道路交通の利便性	道路交通の利便性	まちのイメージ	道路交通の利便性
	21.7%	19.4%	28.8%	23.5%	20.4%	28.9%	25.4%

※全体集計において、各区の比重を均一にするため、港区の標本数を他5区と同程度に補正している。

(2) クロス集計結果

ア 年齢別転出を希望しない理由

港区

年齢が高くなるほど「公共交通機関の利便性」、「買い物のしやすさ」等の回答割合が高い。

■調査結果

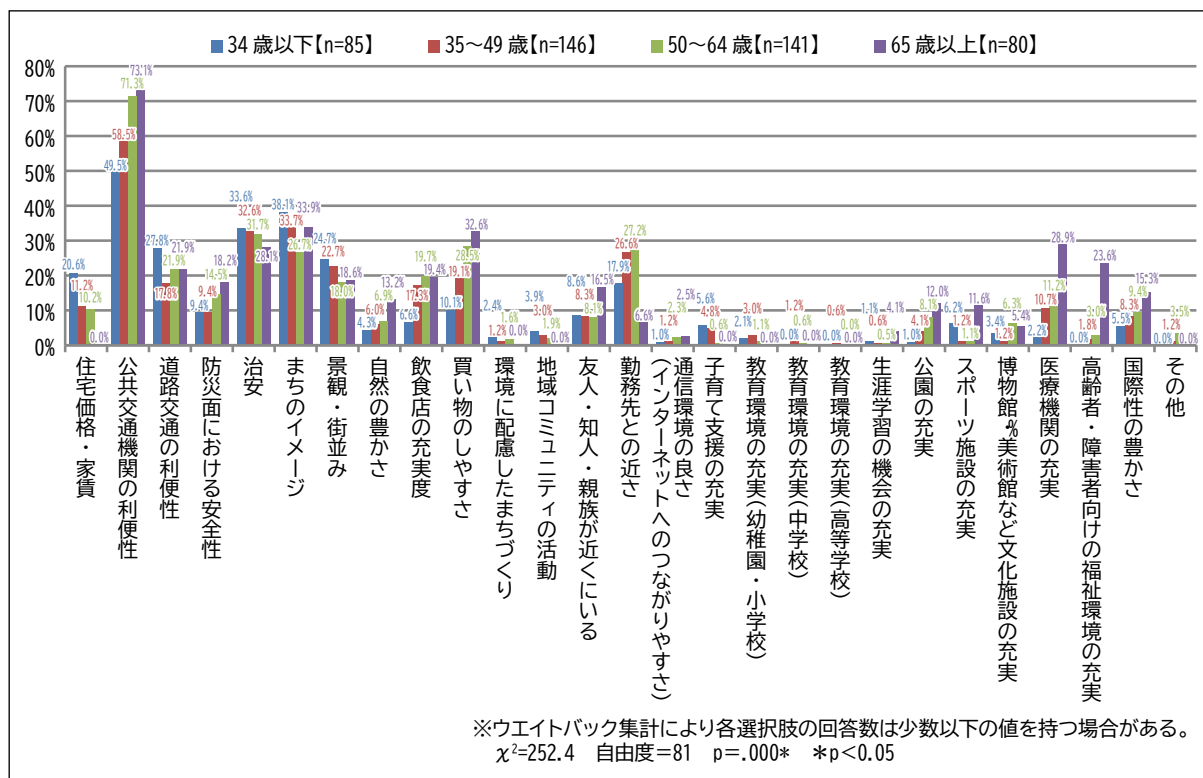
「34歳以下」は、「公共交通機関の利便性」が49.5%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(38.1%)、「治安」(33.6%)などが多くなっている。

「35～49歳」は、「公共交通機関の利便性」が58.5%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(33.7%)、「治安」(32.6%)などが多くなっている。

「50～64歳」は、「公共交通機関の利便性」が71.3%で最も多く、次いで「治安」(31.7%)、「買い物のしやすさ」(28.5%)などが多くなっている。

「65歳以上」は、「公共交通機関の利便性」が73.1%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(33.9%)、「買い物のしやすさ」(32.6%)などが多くなっている。

図表2-34-2-1 年齢別転出を希望しない理由



港区

イ 居住期間別転出を希望しない理由

居住期間が5年未満では、他の属性と比較して「まちのイメージ」、「景観・街並み」の回答割合が高い。

■調査結果

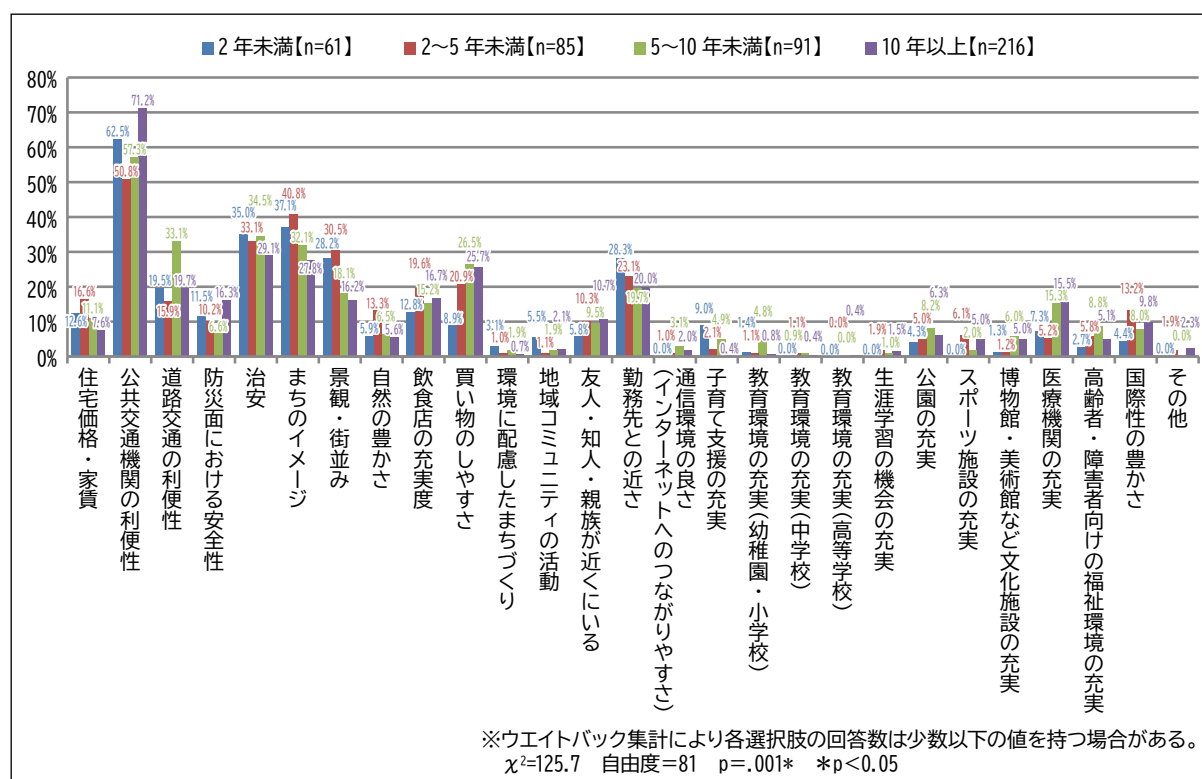
「2年未満」は、「公共交通機関の利便性」が62.5%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(37.1%)、「治安」(35.0%)などが多くなっている。

「2～5年未満」は、「公共交通機関の利便性」が50.8%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(40.8%)、「治安」(33.1%)などが多くなっている。

「5～10年未満」は、「公共交通機関の利便性」が57.3%で最も多く、次いで「治安」(34.5%)、「道路交通の利便性」(33.1%)などが多くなっている。

「10年以上」は、「公共交通機関の利便性」が71.2%で最も多く、次いで「治安」(29.1%)、「まちのイメージ」(27.8%)などが多くなっている。

図表2-34-2-2 居住期間別転出を希望しない理由



ウ 子どもの年齢別転出を希望しない理由

「子ども13～15歳」と「子ども16～18歳」で「公共交通機関の利便性」の回答割合が高い。

■調査結果

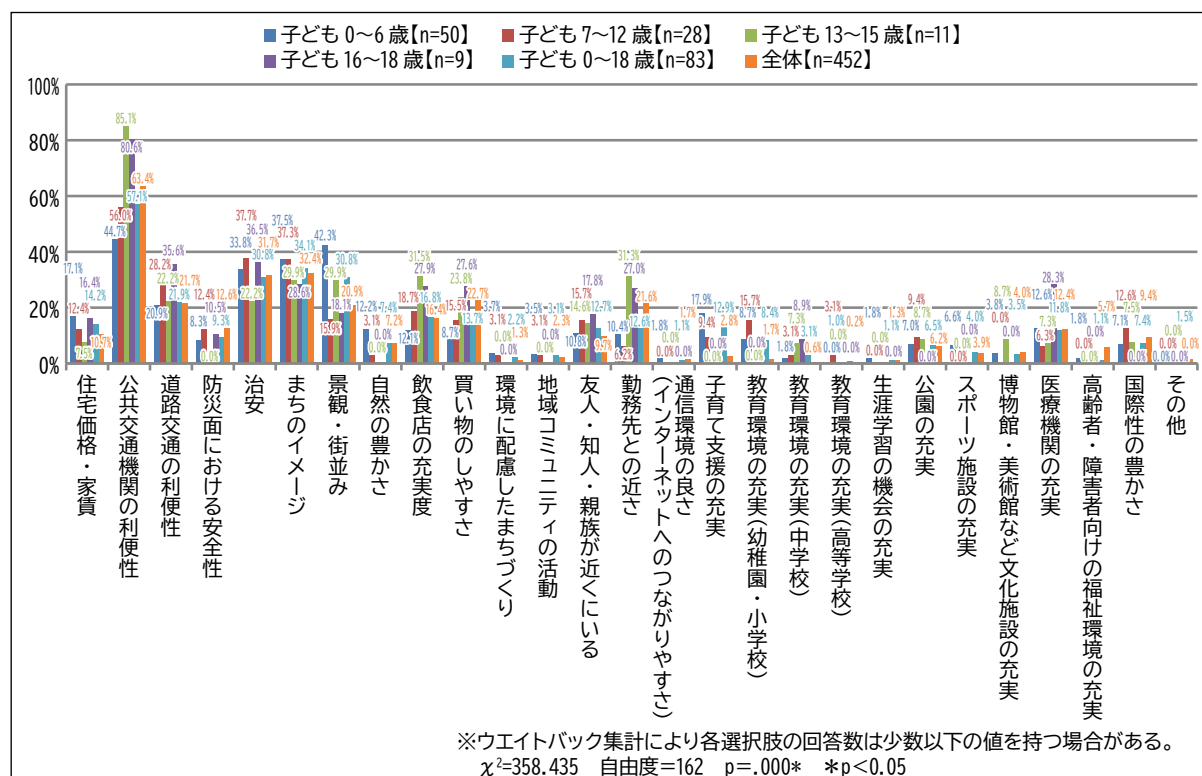
「子ども0～6歳」は、「公共交通機関の利便性」が44.7%で最も多く、次いで「景観・街並み」(42.3%)、「まちのイメージ」(37.5%)などが多くなっている。

「子ども7～12歳」は、「公共交通機関の利便性」が56.0%で最も多く、次いで「治安」(37.7%)、「まちのイメージ」(37.3%)などが多くなっている。

「子ども13～15歳」は、「公共交通機関の利便性」が85.1%で最も多く、次いで「飲食店の充実度」(31.5%)、「勤務先との近さ」(31.3%)などが多くなっている。

「子ども16～18歳」は、「公共交通機関の利便性」が80.6%で最も多く、次いで「治安」(36.5%)、「道路交通の利便性」(35.6%)などが多くなっている。

図表2-34-2-3 子どもの年齢別転出を希望しない理由



エ 既婚者の今後の希望子ども数別転出を希望しない理由

「0人」は「公共交通機関の利便性」、「2人」、「3人以上」は「景観・街並み」、「治安」、「まちのイメージ」の回答割合が高い傾向にある。

■調査結果

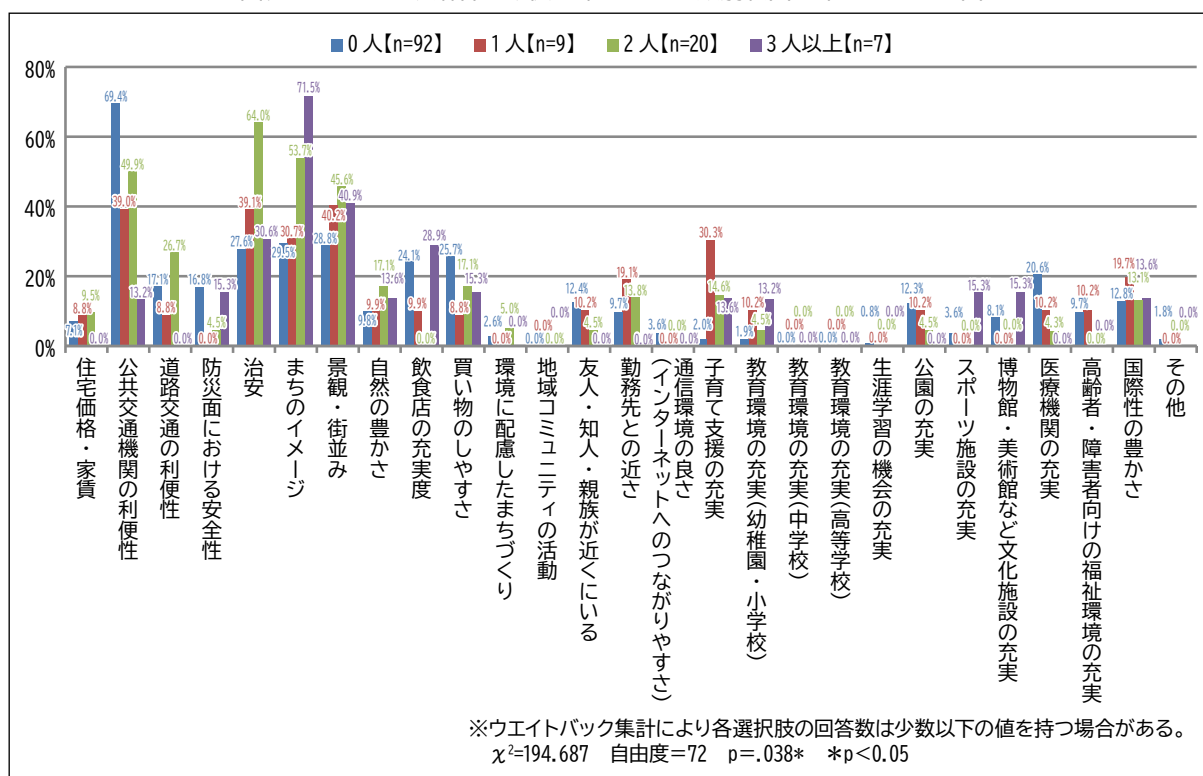
「0人」は、「公共交通機関の利便性」が69.4%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(29.5%)、「景観・街並み」(28.8%)などが多くなっている。

「1人」は、「景観・街並み」が40.2%で最も多く、次いで「治安」(39.1%)、「公共交通機関の利便性」(39%)などが多くなっている。

「2人」は、「治安」が64%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(53.7%)、「公共交通機関の利便性」(49.9%)などが多くなっている。

「3人以上」は、「まちのイメージ」が71.5%で最も多く、次いで「景観・街並み」(40.9%)、「治安」(30.6%)などが多くなっている。

図表2-34-2-4 既婚者の今後の希望子ども数別転出を希望しない理由



オ 未婚者の結婚希望別転出を希望しない理由

港区

希望が「ある」回答者は「景観・街並み」、「治安」、「まちのイメージ」の回答割合が相対的に高い。

■調査結果

「ある」は、「公共交通機関の利便性」が56.3%で最も多く、次いで「まちのイメージ」(48.1%)、「治安」(42.2%)などが多くなっている。

「ない」は、「公共交通機関の利便性」が67.5%で最も多く、次いで「買い物のしやすさ」(32.9%)、「治安」(31.4%)などが多くなっている。